

第六十九回帝國議會
衆議院

米穀自治管理法案外二件委員會會議錄(速記)第一回

付託議案

米穀自治管理法案(政府提出)
米穀統制法中改正法律案(政府提出)
米穀共同貯藏助成法案(政府提出)

委員會成立

本委員ハ昭和十一年五月九日(土曜日)議長ノ指名ヲ以テ左ノ通選定セラレタリ

シ

○伊藤投票管理者 御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○伊藤投票管理者 ソレデハ御異議ナイト

認メマシテ、委員長ニ東君ガ御當選ニナリマシタ

〔拍手起ル〕

〔東武君委員長席ニ著ク〕

○東委員長 デハ御指名ニ依ッテ委員長ノ

席ヲ汚スコトニナリマシタ、ドウカ宜シク、只今ヨリ引續キ理事ノ互選ヲ行ヒマス

○川崎委員 理事ハ其數ヲ七名ト致シマシ

テ、委員長ニ於テ御指名アランコトヲ希望致シマス

○東委員長 御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○東委員長 ソレデハ委員長ヨリ指名致シ

マス、理事ノ數ハ七名ト致シマシテ

松村 謙三君 川崎末五郎君

佐藤謙之輔君 角 源泉君

石坂 養平君 三善 信房君

島田七郎右衛門君

ヲ御願致シタイト思ヒマス(拍手)ソレデハ御異議ガナイヤウデアリマスカラ、此七名

ヲ指名致シマス

會議

昭和十一年五月十一日(月曜日)午前九時三十五分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 東 武君

理事松村 謙三君 理事川崎末五郎君

理事佐藤謙之輔君 理事角 源泉君

理事三善信房君 理事島田七郎右衛門君

高橋 守平君 岡田 春夫君

澤田 利吉君 伊藤武七郎君

中村 梅吉君 長井 源君

岡田喜久治君 服部 崎市君

山森 利一君 渡邊 鏡藏君

木村 淺七君 喜多壯一郎君

胎中楠右衛門君 中田 儀直君

國光 五郎君 牧野 良三君

田村 實君 小笠原八十美君

沖 藏君 上田 孝吉君

立川 太郎君 平野 力三君

北 勝太郎君 森 肇君

永山 忠則君 三宅 正一君

富吉 榮二君 野中 徹也君

同日委員伊藤武七郎君及大石大君辭任ニ付其ノ補闕トシテ中村梅吉君及野中徹也君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席國務大臣左ノ如シ

農林大臣 島田 俊雄君

拓務大臣 永田秀次郎君

出席政府委員左ノ如シ

農林政務次官 田邊 七六君

農林參與官 小林 絹治君

農林省米穀局長 荷見 安君

拓務政務次官男爵 稻田 昌植君

拓務省殖産局長 北島謙次郎君

拓務書記官 小河 正儀君

朝鮮總督府政務總監 今井田清徳君

臺灣總督府總務長官 平塚 廣義君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

米穀自治管理法案(政府提出)

米穀統制法中改正法律案(政府提出)

糧食共同貯藏助成法案(政府提出)

○東委員長 是ヨリ引續キ會議ヲ開キマ

ス、政府ノ方ニ於キマシテハ昨日日本會議ニ上程ノ際ニ、政府ヨリシテ詳細ナ説明ガアッタノデアリマスカラ、別段詳細シイ説明ハ要ラスト考ヘマスガ、一應農林大臣ヨリ政府ノ説明ガアルコト、考ヘマス、島田農林大

臣御挨拶ガアッタドウカ願ヒマス

○島田國務大臣 只今議題ト相成ツテ居リ

マスル米穀關係ノ三法案ニ付キマシテ、本會議ノ議場ニ於テ大體提案ノ理由ヲ説明申上ゲマシタ、尙ホ引續イテ行ハレマシタ本

會議ニ於ケル各派代表者ノ御質疑ニ對シテ

御答ヲ致シマシタ、ソレ等ノ點ニ於キマシ

テ、大體政府トシマシテ、本法案ヲ提出致

シマシタ趣意ハ御諒解ヲ得タコト、存ジマ

ス、申上ゲルマデモナク、此三法案ハ第六

十七議會ニ於キマシテ提案ヲ致シ、衆議院

ニ於テハ極メテ慎重ニ、極メテ詳細ナル點

マデ御審議相成リマシテ、ソレニ對シテ相

當ナ修正ヲ加ヘラレ、尙ホ重大ナル點ニ付

テ數箇條ノ附帶決議ヲシテ、本院ヲ通過セ

シメラレタ次第デアリマス、爾來政府ニ於

キマシテハ修正ノ點ニ付テ十分ニ研究ヲ加

ヘマシテ、衆議院修正ハ何レモ本法案ノ目

的トスル所ヲ妨グル趣意ニ出デタルモノデ

ハナイト云フコトノ點ニ付テ自信ヲ得マシ

タノデ、大體修正ノ點ハ之ヲ採用致シマシ

テ、即チ今回提案ヲ致シマシタ自治管理法

案ニハ、衆議院修正ヲ取入レタルモノヲ提

出致シタ次第デアリマス、即チ當時ノ衆議

院修正案ヲ原案トシタコトニナッテ居ルノ

デアリマス、尙ホ當時決議セラレマシタ附

帶條項ニ付キマシテハ、是レ亦本會議ニ於

テ申上ゲマシタヤウニ、各條項ニ付キマシ

テソレノ之ヲ實際ニ現ハスベク、附帶決

議ノ趣意ヲ尊重致シマシテ、或ハ直チニ相

當ノ處置ヲ取り、或ハ之ヲ實行ニ現ハスベ

ク調査ヲ始メマシテ、ソレ等ノ點ニ付キマ

シテハ尙ホ御質問ニ應ジ詳細ニ出來得ル限

リハ説明ヲ致シタイト考ヘテ居リマスル

ガ、誠意ヲ以テ政府トシテハ本法案ノ成立

ヲ全カラシメル爲ニ之ニ實施實行致シテ居

ルヤウナ次第デアリマス、而シテ現行ノ米

穀統制法ノ存在ヲ前提ト致シマシテハ、米

ノ自治管理ニ付テ只今提出致シテ居ルヤウ

ナ制度ヲ茲ニ立デマスルコトガ極メテ必要

デアリマシテ、本會議デモ申上ゲタル如ク

諸種ノ方面カラ見マシテ、此法案以上ノヤ

リ方ハ現在ニ於テハナカラウト、斯様ナ信

條ノ下ニ提案ヲ致シタ次第デアリマス、之

ニ對シテハ米穀取扱業者、即チ米商人竝ニ

此取引所關係、又生産者ノ關係、各方面カ

ラ種々ナ御議論ガアルコトハ政府ト致シマ

シテモ、能ク諒承致シテ居ルノデアリマス、

併シ繰返シテ申上ゲマスヤウニ、統制法ヲ

前提ト致シマシテハ此程度ノヤリ方ヤスル

コトガ最モ時宜ニ適シテ居ル、斯様ニ存ゼ

ラレルノデアリマシテ、此意味ヲ以チマシ

テ提案ヲシタト云フコトヲ重複デハアリマ

スルケレドモ、此處ニ一應申上ゲテ御諒解

ヲ得テ置キタイト思フ次第デアリマス

○川崎委員 委員長、此委員會ハ暫ラク休

憩致シタイト思ヒマスガ……

「異議ナシ」ドウ云フ意味デス」ト呼

フ者アリ」

○東委員長 川崎君、御話ノ時ニハドウゾ

起ッテ御發言ヲ願ヒマス

○川崎委員 本案ハ重大ナル案デスカラ、

能ク吾々モ是カラ慎重審議シナクチャナラ

ス、只今大臣カラノ御説明ガアリマシタカ

ラシテ、暫ラク休憩シテ、ソレカラ更ニ進

メテ貫ヒタイト思ヒマス

○東委員長 サウスルト午前中休憩ト云フ

コトデスカ

○川崎委員 暫時休憩デス

○三宅委員 暫時休憩ト云フノハ此審議ノ

方法ニ付テノ理事ノ打合せグラウト思ヒマ

スガ、私共ノヤウナ小會派ニ於テハ理事ガ

出デ居ラヌノテゴザイマスガ、斯ウ云フ重

大ナル法案ニ付テノ審議デゴザイマスカラ

シテ、十分ニヤハリ審議ヲ盡サセテ貫ヒタ

イ、サウ云フ意味ニ於テ休憩前ニ一ツ理事

ノ打合せニ付テ希望ヲシテ置キマスガ、豫

算委員會等ニ於テハ、時間ヲ決メテ一回シ

カヤレナイト云フヤウナ議事進行ノ方法ニ
ナッテ居ルヤウデアリマスルケレドモ、コチ
ラノ委員會ハ、ソレヨリハ範圍ガ非常ニ小
サイノデゴザイマシテ、米穀法案ダケノ關
係デゴザイマスカラシテ、此際理事ニ御
願シテ置キマスガ、説明ヲ聽キ質問ヲ進メ
テ行キ他ノ委員ノ質問等ヲ聽イタリシマス
ト、又色々ナ新シイ疑問、質問等モ出テ來
ルト思ヒマスカラ、其時ニハドウカ發言ヲ
許サレルヤウニ、發言ヲ一回カ二回ニ止メ
ラレテシマフト云フヤウナ議事ノ進行方法
デ押サレナイヤウニ、一ツ豫メ希望ヲ申上
ゲテ置キマス

○東委員長 只今川崎君ノ御提議ノ暫時休
憩スルト云フコトニ御異議アリマセヌカ
「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○東委員長 ソレデハ暫時休憩致スコトニ
致シマス

午前九時四十六分休憩

午前十時三十七分開議

○東委員長 ソレデハ是ヨリ引續イデ開會
致シマス——渡邊鐵藏君

○渡邊委員 質問ニ入りマス前ニ、資料ヲ
御當局カラ提出シテ戴キタイ、ソレヲ今申
ヒゲマス、極ク單純ナモノバカリデスガ、

尙ホ非常ニ困難ナモノ、已ムヲ得ナイモノ
モアルカモ知レマセヌ、一米穀統制法施行以
後政府ノ買入レタル米穀ノ數量、其各年別及
總額竝ニ右ニ要シタル金額、二米穀統制法
ニ依ル買入米ノ最近ニ於ケル貯藏額、其他
米穀需給調節特別會計ニ於ケル政府米ノ總
額數量、三臨時米穀移入調節法ニ依リ買入レ
タル外地米ノ數量、貯藏場所竝ニ本法ニ依
リ米穀需給調節特別會計ニ於テ消費セル金
額、四昭和九年政府所有米特別處理法ニ依
リ處分セル數量竝ニ用途、五昭和九年凶作
地ニ對スル政府所有米穀ノ臨時交付ニ關ス
ル法律ニ依リ交付セル米穀ノ數量竝ニ其交
付地域及交付ヲ受ケタル市町村ノ備荒貯蓄
數量、六米穀統制法施行以後海外ニ輸出セ
ル政府米ノ數量竝ニ其單價及賣却地、七米
穀法施行以來ノ米穀需給調節特別會計ニ於
ケル損失金ノ各年金額竝ニ其累計額、八米
穀運用資金ノ限度増加ノ沿革ヲ示ス數字竝
ニ最近ノ殘存額、九政府ガ生産費調査開始
以來ノ各年ノ調査農家戸數、是ハ簡單ナ數
ダケデ宜イ、十右調査農家ノ昭和九年及十
年ノ生産費ノ各項目ヲ記入セル調査原表、
正確ナ名前ハ知リマセヌガ、調査原表全部ノ
寫シ、但シ是ハ中々ムツカシイダラウト思
ヒマスカラ、自分トシテハ兼ネ一一度見

タイト思ッテ居リマシタノデ、此法案ノ審議
ニ支障ヲ來スヤウナ風ニナッテモ惡イト思
ヒマスカラ、是ハ或ハ場合ニ依ッテハ原表閱
覽ノ機會ヲ、希望シタ場合ニ與ヘテ貰ヘレ
バ見タイト、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、
十一米穀統制法施行以來各年度ニ於ケル總
調査農家ノ申告セル各戸ノ生産費表、二千
戸ナラ二千戸全部ノ生産費ガ一軒ヅ、幾ラ
デアルカト云フコト、十二米穀統制法施行
以來ノ毎年ノ最高竝ニ最低公定價格數字、
竝ニ右算出方法ノ簡單ナル説明

大體是位デアリマス、尙ホ他ニ資料ヲ欲
スルモノモアリマシタケレドモ、大體統計
ニ依ッテ承知致シテ居リマス

○東委員長 一寸渡邊君ノ本質問ノ前ニ委
員長カラ一度申上ゲルコトガアリマスガ、
御參考デアリマスルガ、理事會ニ於テ申合
セタ事項デアリマスルガ、今期議會ハ非常
ニ重要法案ガ幅濫シテ居ルノデアリマシ
テ、豫算委員會デモ大體一人一時間ヲ限度
トスルト云フコトノ申合セガ出來テ居リマ
ス、此委員會ハ必ズ豫算委員會通リニヤラ
ナケレバナラスト云フコトハアリマセヌ
ガ、只今理事諸君ノ協議ニ依リマシテ、大
體一時間見當トスル、已ムヲ得ナイ特殊ノ
場合ニハ多少委員長ニ於テ調節ヲ斟酌スル

ト云フコトニ申合セガ出來マシタ、ソレカ
ラシテ第二ハ成ベク重複ヲ避ケルコト、是
ハ重複ヲ避ケルト云フノハ、出席ヲシナイ
デ居ッテ、サウシテ他ノ委員ガ最モ熱心ニ質
問應答シタモノヲ聞カナイデ置イデ、サウ
シテ速記録ヲ讀マナイデ、復タ同ジコトヲ
繰返スト云フコトガヨク此委員會ニハアリ
得ルノデアリマスガ、サウ云フ場合ニハ成
ベク速記録ヲ見ルコト云フヤウナコトニ
御願フスル、重複ヲ避ケル第三ニハ關聯事
項ノ質疑ガ、是ハ隨分隨時起ルノデアリマ
スガ、是ハ豫算委員會等ニ對シテハ、關聯
事項ノ質疑ハ先ヅ五分乃至十分ト云フコト
ニ申合セラシテ居ルノデアリマスガ、十分
ト云フコトハ、相當ニ長イ時間デアリマス
カラ、十分間位ハ關聯事項トシテ是ハ認め
ル、ソレ以上ニナルト云フト通告ガ解消サ
レルト云フコトニナッテ居ルノデスガ、是ハ申
合セデアリマスルガ、成ベク關聯事項ハ短
ク願フ、斯ウ云フコトヲ御願ヒスル、ソレカ
ラシテ各種ノ法案ガ非常ニ幅濫シテ居ル爲
ニ大臣ガ各所ニ出席シナケレバナラスト、豫
算委員會、本會議、貴族院ト云フヤウナ風
ニナリマスルガ、サウ云フ場合ニハ議事進
行ノ爲ニ、大體委員ノ質問ハ、本會議豫算
委員會等ニ付テモ、大體ノ質問ヲヤッテ居ル

ノデアアルコトハ御承知ノ通りデアリマス、所ガ事務的ノ質問ガ非常ニ多イノデアリマス、又吾々ノ知り得ルコトニ付テノ質問事項ハ、多クハ事務當局者ノ説明ガ非常ニ肝要ナンデアリマスルガ、サウ云フ場合ニハ大臣ガ出席シナクテモ、政府委員ニ於テ説明ヲ請フト云フコトニスルト、滑ラカニ進行スルガラウ、斯ウ云フコトヲ申合セテ致シタノデアリマス、是ハ委員長ニ於テソレゾレ成ベク大臣ノ出席ヲ願フヤウニ致シマスルガ、大臣ノ出席ガナイカラ、議事ヲ延バスト云フヤウナコトハ是ハ出來ナイノデアリマス、餘リ時間ガアリマセヌカラシテ、成ベクサウ云フ風ナコトニ御願シテ、皆様モ其御含ミデ御進行ヲ願ッテ結構ダラウ、斯ウ云フコトヲ申合セテ致シタノデアリマス、之ヲ豫メ申シテ置キマス、是ハ詰リ大體ノ含ミデアリマスルガ、必ズ之ヲ以テ嚴格ニ一分一秒違ッテモドウト云フヤウナコトハアリマセヌ、左様御承知願ヒマス

○三宅委員 質問者ノ順序ハドウナッテ居リマスカ
○東委員長 質問者ノ順序ハ通告ニ依ッテ順序ヲ定メルコトニシテ、各派ニ於テ大抵協調ヲ取ッテ居リマス、委員長ノ手許ニ質問者ノ通告ヲ願ッテ居リマスカラ、是ハ先例通りデアリマス
○松村委員 委員長、尙ホ御願致シテ置キマスガ、此方カラ提出ヲ要求致シマシタ書類ハ成ベク早く御出シヲ願ヒタイト思ヒマス、是マデデモヨク非常ニ遅レル場合ガアリマスガ、サウ云フコトニナリマス、審議モ自ラ遅レマスノデゴザイマス、ソレダケ一ツ政府ノ方ヘ委員長カラ御注意願ヒマス
○東委員長 承知シマシタ
○三宅委員 ソレカラ渡邊委員カラ大分色色書類ノ提出ノ御要求ガアッタノデスガ、ア云フ特殊ナモノハ特殊ノモノデ各委員カラ要求スルコトニ致シマシテ、米穀要覽デアルトカ、農業要覽デアルトカ、其他印刷シテ居ラレマシテ、之ニ參考ニナリマスルヤウナ農林、拓務、其他ノ關係ノモノヲ印刷シテアリマス部分ハ、新米議員モ澤山居リマスカラ、一應書類全部ヲ渡シテ戴キタイ、ソレヲ御願致シマス
○東委員長 承知シマシタ——ソレデヤ渡邊サン
○渡邊委員 今ノ質問ニ入ル前ニ今ノ議事進行ノ委員長ノ御注意ニ對シテ一寸希望ヲ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、大體

御無理ノナイコトト思ヒマス、豫算總會ノ例モアルコトト思ヒマスガ、昨年此法案ノ提案サレマシタ例ヲ見マスルト、三週間位モ委員會デ慎重審議ヲ遂ゲラレタシヤナイカ知ラント思フノデアリマス、或ル議員ニ至ッテハ三日間モ質問サレタ方ガ數名アッタヤウニ思ヒマス、併シドウモドウ云フ理由カ私ニハ全ク呑込メマセヌガ、此議會ハ非常ナ急速度デ審議ヲ續ケヤウトサレテ居リマス、ソコデ今ノヤウナ委員長ノ御希望ガアッタノガラウト思フノデアリマス、ソレヲ承レバ私共實ハ大聲叱呼シテヤラナケレバナラスノデアリマスケレドモ、マア左様ナ態度ハ執リマセヌ、併シ自分達ノ衷情ダケハ一ツ御聽取ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、此法案ハ此様ニ紛糾シテ居ル法案デアリマシテ、今マデ御出シニナリマシタ色々、大正十年以來ノ米穀統制ノ法案ト云フモノハ、總テサウ世間ノ紛爭ナク通過シテ居リマス、米穀統制法ニシテモサウダト思フノデアリマス、ソレガ此法律ニ限ッテ斯様ナ紛糾ヲ來スノハ、何故カト云フコトヲ御考ヘ願ッタナラバ、餘リニ言論ヲ封鎖スルヤウナ形デ是ノ審議ヲ促進サレルト云フコトハ、私ハ實ハ遺憾ナヤウニ存ジマス、之ヲ譬ヘテ申セバ、普通ノ會社ノ總會デモ、

議案ハ相當ニ期日前ニ來ルコトハ御承知ノ通りデアリマス、初メテ議會ヘ來テ法案ヲ出サレテ、吾々ハ研究シテ居リマスガ、サウデナイ方モアルカモ知レマセヌ、少クトモ本會議デ十分ニ世間ニ意見ヲ發表スル、ソレガ出來ナケレバ委員會位デハ、セメテ思フ存分ノコトヲ、議事ノ妨害ニナラナイ限リハ申上ゲタイ、サウスレバ法案ノ或ハ誤ッテ居ル所モ正スコトガ出來ヤウシ、米穀政策ヲ過チナキ所ニ導イテ行クト云フコトモ出來ヤウ、又世間ノアノ紛糾ト云フモノヲ緩和スルコトモ出來ヤウト、斯ウ思フノデアリマス、非常ニ審議ヲ御急ギニナルト云フコトハ已ムヲ得ナイト思フノデアリマスルガ、併シ實ハ私共トシテハ、少クトモ徹底シテ十分問答ヲ重ネレバ、二三十時間ハ掛ルノデヤナイカト思ッテ居リマス、ソレハ豫想ハ付キマセヌガ、併シ今ノ御趣旨デアレバ皆サンノ御申合セト云フコトヲ破ルコトモ如何カト思ヒマスノデ、努メテ御趣旨ニ副ヒタイト思ヒマス、併シサウ嚴格ニ一時間ト言ハレデモ、思フコトノ要點ニモ觸レルコトノ出來ナイト云フ場合ニハ、ドウカ一ツ其點ヲ御諒承シテ戴キタイ
○東委員長 分リマシタ
○渡邊委員 ソレカラ又總理大臣ニハ一度

御無理ノナイコトト思ヒマス、豫算總會ノ例モアルコトト思ヒマスガ、昨年此法案ノ提案サレマシタ例ヲ見マスルト、三週間位モ委員會デ慎重審議ヲ遂ゲラレタシヤナイカ知ラント思フノデアリマス、或ル議員ニ至ッテハ三日間モ質問サレタ方ガ數名アッタヤウニ思ヒマス、併シドウモドウ云フ理由カ私ニハ全ク呑込メマセヌガ、此議會ハ非常ナ急速度デ審議ヲ續ケヤウトサレテ居リマス、ソコデ今ノヤウナ委員長ノ御希望ガアッタノガラウト思フノデアリマス、ソレヲ承レバ私共實ハ大聲叱呼シテヤラナケレバナラスノデアリマスケレドモ、マア左様ナ態度ハ執リマセヌ、併シ自分達ノ衷情ダケハ一ツ御聽取ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、此法案ハ此様ニ紛糾シテ居ル法案デアリマシテ、今マデ御出シニナリマシタ色々、大正十年以來ノ米穀統制ノ法案ト云フモノハ、總テサウ世間ノ紛爭ナク通過シテ居リマス、米穀統制法ニシテモサウダト思フノデアリマス、ソレガ此法律ニ限ッテ斯様ナ紛糾ヲ來スノハ、何故カト云フコトヲ御考ヘ願ッタナラバ、餘リニ言論ヲ封鎖スルヤウナ形デ是ノ審議ヲ促進サレルト云フコトハ、私ハ實ハ遺憾ナヤウニ存ジマス、之ヲ譬ヘテ申セバ、普通ノ會社ノ總會デモ、

議案ハ相當ニ期日前ニ來ルコトハ御承知ノ通りデアリマス、初メテ議會ヘ來テ法案ヲ出サレテ、吾々ハ研究シテ居リマスガ、サウデナイ方モアルカモ知レマセヌ、少クトモ本會議デ十分ニ世間ニ意見ヲ發表スル、ソレガ出來ナケレバ委員會位デハ、セメテ思フ存分ノコトヲ、議事ノ妨害ニナラナイ限リハ申上ゲタイ、サウスレバ法案ノ或ハ誤ッテ居ル所モ正スコトガ出來ヤウシ、米穀政策ヲ過チナキ所ニ導イテ行クト云フコトモ出來ヤウ、又世間ノアノ紛糾ト云フモノヲ緩和スルコトモ出來ヤウト、斯ウ思フノデアリマス、非常ニ審議ヲ御急ギニナルト云フコトハ已ムヲ得ナイト思フノデアリマスルガ、併シ實ハ私共トシテハ、少クトモ徹底シテ十分問答ヲ重ネレバ、二三十時間ハ掛ルノデヤナイカト思ッテ居リマス、ソレハ豫想ハ付キマセヌガ、併シ今ノ御趣旨デアレバ皆サンノ御申合セト云フコトヲ破ルコトモ如何カト思ヒマスノデ、努メテ御趣旨ニ副ヒタイト思ヒマス、併シサウ嚴格ニ一時間ト言ハレデモ、思フコトノ要點ニモ觸レルコトノ出來ナイト云フ場合ニハ、ドウカ一ツ其點ヲ御諒承シテ戴キタイ
○東委員長 分リマシタ
○渡邊委員 ソレカラ又總理大臣ニハ一度

御無理ノナイコトト思ヒマス、豫算總會ノ例モアルコトト思ヒマスガ、昨年此法案ノ提案サレマシタ例ヲ見マスルト、三週間位モ委員會デ慎重審議ヲ遂ゲラレタシヤナイカ知ラント思フノデアリマス、或ル議員ニ至ッテハ三日間モ質問サレタ方ガ數名アッタヤウニ思ヒマス、併シドウモドウ云フ理由カ私ニハ全ク呑込メマセヌガ、此議會ハ非常ナ急速度デ審議ヲ續ケヤウトサレテ居リマス、ソコデ今ノヤウナ委員長ノ御希望ガアッタノガラウト思フノデアリマス、ソレヲ承レバ私共實ハ大聲叱呼シテヤラナケレバナラスノデアリマスケレドモ、マア左様ナ態度ハ執リマセヌ、併シ自分達ノ衷情ダケハ一ツ御聽取ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、此法案ハ此様ニ紛糾シテ居ル法案デアリマシテ、今マデ御出シニナリマシタ色々、大正十年以來ノ米穀統制ノ法案ト云フモノハ、總テサウ世間ノ紛爭ナク通過シテ居リマス、米穀統制法ニシテモサウダト思フノデアリマス、ソレガ此法律ニ限ッテ斯様ナ紛糾ヲ來スノハ、何故カト云フコトヲ御考ヘ願ッタナラバ、餘リニ言論ヲ封鎖スルヤウナ形デ是ノ審議ヲ促進サレルト云フコトハ、私ハ實ハ遺憾ナヤウニ存ジマス、之ヲ譬ヘテ申セバ、普通ノ會社ノ總會デモ、

議案ハ相當ニ期日前ニ來ルコトハ御承知ノ通りデアリマス、初メテ議會ヘ來テ法案ヲ出サレテ、吾々ハ研究シテ居リマスガ、サウデナイ方モアルカモ知レマセヌ、少クトモ本會議デ十分ニ世間ニ意見ヲ發表スル、ソレガ出來ナケレバ委員會位デハ、セメテ思フ存分ノコトヲ、議事ノ妨害ニナラナイ限リハ申上ゲタイ、サウスレバ法案ノ或ハ誤ッテ居ル所モ正スコトガ出來ヤウシ、米穀政策ヲ過チナキ所ニ導イテ行クト云フコトモ出來ヤウ、又世間ノアノ紛糾ト云フモノヲ緩和スルコトモ出來ヤウト、斯ウ思フノデアリマス、非常ニ審議ヲ御急ギニナルト云フコトハ已ムヲ得ナイト思フノデアリマスルガ、併シ實ハ私共トシテハ、少クトモ徹底シテ十分問答ヲ重ネレバ、二三十時間ハ掛ルノデヤナイカト思ッテ居リマス、ソレハ豫想ハ付キマセヌガ、併シ今ノ御趣旨デアレバ皆サンノ御申合セト云フコトヲ破ルコトモ如何カト思ヒマスノデ、努メテ御趣旨ニ副ヒタイト思ヒマス、併シサウ嚴格ニ一時間ト言ハレデモ、思フコトノ要點ニモ觸レルコトノ出來ナイト云フ場合ニハ、ドウカ一ツ其點ヲ御諒承シテ戴キタイ
○東委員長 分リマシタ
○渡邊委員 ソレカラ又總理大臣ニハ一度

御無理ノナイコトト思ヒマス、豫算總會ノ例モアルコトト思ヒマスガ、昨年此法案ノ提案サレマシタ例ヲ見マスルト、三週間位モ委員會デ慎重審議ヲ遂ゲラレタシヤナイカ知ラント思フノデアリマス、或ル議員ニ至ッテハ三日間モ質問サレタ方ガ數名アッタヤウニ思ヒマス、併シドウモドウ云フ理由カ私ニハ全ク呑込メマセヌガ、此議會ハ非常ナ急速度デ審議ヲ續ケヤウトサレテ居リマス、ソコデ今ノヤウナ委員長ノ御希望ガアッタノガラウト思フノデアリマス、ソレヲ承レバ私共實ハ大聲叱呼シテヤラナケレバナラスノデアリマスケレドモ、マア左様ナ態度ハ執リマセヌ、併シ自分達ノ衷情ダケハ一ツ御聽取ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、此法案ハ此様ニ紛糾シテ居ル法案デアリマシテ、今マデ御出シニナリマシタ色々、大正十年以來ノ米穀統制ノ法案ト云フモノハ、總テサウ世間ノ紛爭ナク通過シテ居リマス、米穀統制法ニシテモサウダト思フノデアリマス、ソレガ此法律ニ限ッテ斯様ナ紛糾ヲ來スノハ、何故カト云フコトヲ御考ヘ願ッタナラバ、餘リニ言論ヲ封鎖スルヤウナ形デ是ノ審議ヲ促進サレルト云フコトハ、私ハ實ハ遺憾ナヤウニ存ジマス、之ヲ譬ヘテ申セバ、普通ノ會社ノ總會デモ、

議案ハ相當ニ期日前ニ來ルコトハ御承知ノ通りデアリマス、初メテ議會ヘ來テ法案ヲ出サレテ、吾々ハ研究シテ居リマスガ、サウデナイ方モアルカモ知レマセヌ、少クトモ本會議デ十分ニ世間ニ意見ヲ發表スル、ソレガ出來ナケレバ委員會位デハ、セメテ思フ存分ノコトヲ、議事ノ妨害ニナラナイ限リハ申上ゲタイ、サウスレバ法案ノ或ハ誤ッテ居ル所モ正スコトガ出來ヤウシ、米穀政策ヲ過チナキ所ニ導イテ行クト云フコトモ出來ヤウ、又世間ノアノ紛糾ト云フモノヲ緩和スルコトモ出來ヤウト、斯ウ思フノデアリマス、非常ニ審議ヲ御急ギニナルト云フコトハ已ムヲ得ナイト思フノデアリマスルガ、併シ實ハ私共トシテハ、少クトモ徹底シテ十分問答ヲ重ネレバ、二三十時間ハ掛ルノデヤナイカト思ッテ居リマス、ソレハ豫想ハ付キマセヌガ、併シ今ノ御趣旨デアレバ皆サンノ御申合セト云フコトヲ破ルコトモ如何カト思ヒマスノデ、努メテ御趣旨ニ副ヒタイト思ヒマス、併シサウ嚴格ニ一時間ト言ハレデモ、思フコトノ要點ニモ觸レルコトノ出來ナイト云フ場合ニハ、ドウカ一ツ其點ヲ御諒承シテ戴キタイ
○東委員長 分リマシタ
○渡邊委員 ソレカラ又總理大臣ニハ一度

質問致シタイ、是ハ僅カ五分カ十分デアリマス、サウ云フ機會ヲ御與ヘヲ願ヒタイ、

ソレデハ農林大臣ニ御尋ネ致シマス、米穀法ノ制定以來種々ノ米穀政策ヲ講ジテオキデニナルヤウデアリマスガ、最近ノ米穀政策ハ何ヲ目的トシテオキデニナルカ、斯ウ云フコトヲ御尋ネシタイ、サウシテ假ニ農村救済ト云フ目的ニ向ッテ、米穀政策ヲ利用シテ居ルノダト云フ考デアレバ、農村ノドウ云フ階級、例ヘバ大農、地主デアルトカ、サウ云フモノヲ中心トシテ居ルカ、或ハ小農、下ノ方ノ階級ノ困窮ノ狀態ヲ目シテ、是ガ救済ノ爲ニ米穀政策ヲ利用サレルカ、サウ云フ點ヲ御尋致シタイト思フノデアリマス、成ベク一問一答ノ方ガ簡單デ宜シウゴザイマスカラ……

○島田國務大臣 米穀對策ノ根本ノ目的ト云フコトニ付テハ、是ハ御尋マデモナク總テ一致シテ居ル、農村問題ノ解決ノ一ツノ方法、其重大ナル問題、斯ウ云フコトカラ出發シテ居ルト存ジテ居リマス、而シテ其目標トスル所ハ、大農カ、中農カ、小農カト云フヤウナコトデアリマスガ、所謂農村問題ノ解決ト致シマシテハ、何レノ者ニ對シテモ平等ニ、公平ニ其影響ガ行クヤウニ圖ラネバ其解決ハ付カヌノデアアル、ソコヲ

目標ニシテ居ル、斯様ニ自分ハ了解シテ居リマス

○渡邊委員 農村救済ニアルト云フ御話デアリマスガ、併シ從來、米價調節ノ方針ハ生産者、消費者兩方ノ利害ヲ考ヘテト云フヤウナ御言葉ヲ承ツタト思ヒマス、併シ私ハ左様ナ言葉尻ヲ捉ヘテドウ斯ウ言フノデハアリマセヌガ、サウ云フ標榜デモ、内實ハ農村救済ノ爲ニ此策ヲヤッテ居ラレルト云フコトハ、吾々モ私カニ承知致シテ居リ、ソレニ同情的ノ立場デ考ヘテ居ルノデアリマス、併シ若シ目的ガ眞ニ達セラレナイ、却テ外ノ良イ方法ヲ是ガ爲ニ實行スルコトヲ遲ラスト云フコトハ、農村ニ氣ノ毒ダト存ジテ居リマスカラ、其點ニ付テ私ノ考ヘテ居リマスコトヲ申シテ、農林大臣ハ却テ御迷惑ト思ヒマスカラ、荷見君ニ御答ヲ願ヒタイ、勿論農林大臣ニハ是カラ多々御伺致シマス、從來私共ノ承知シテ居リマスノデハ、農林省ノ御方針ハ米價ノ季節的變動ヲ調節スルノガ目的ノ一ツダ、斯ウ云フコトデアリマス、ソレカラ昭和五年ノ豐作以來米價ガ急ニ下リマシタカラ、其後ニハ米價ノ引合ト云フコトヲ内心ノ目的トサレテ居ルコトハ十分ニ承知シテ居リマス、ソコデ此二ツノヤリ方ニ付テ季節的調節ト

云フノハ、齋藤内閣以來ノ委員會デモ十分ニ申上ゲマシタカラ、今更申上ゲルコトハ無用ト思フノデアリマスガ、其必要ハナイト思フ、臺灣米ノ一期作ガ入ッテ參リマスシ、サウ變化ガアルモノデナイ、米穀統制法以前ニ其必要ガナカッタ、ソレハ其必要ナリト云フ趣旨ハ、私共曾テ齋藤内閣ノ米穀統制委員會デ發表致シマシタ、尙ホ茲ニ米價政策ヲ農村救済策トシテ考ヘラレル根本ニ、私共非常ニ誤解ガアリハシナイカト思フ點ハ、斯ウ云フコトヲ農村當局竝ニ農學者ガ言ハレテ居リマス、米ハ出廻期ニ値段ガ安イ、サウシテ細農ガ後デ消費者トシテ買フ場合ニ高クナル、ソレハ氣ノ毒デカラ米價ヲ抑ヘルノダ、季節的ノ變化ヲ抑ヘル、斯ウ云フコトヲ申サレマスルガ、私共ノ見ル所ヲ以テスレバ、此米穀ガ出廻期ニ多量ニ出テ來ル、是ハ新米ノ値段デアリマシテ、其時ガ一番安イト云フコトハ是ハ當リ前ノコトデアリマス、ソレカラ端境期ノ五月、七月ト段々上ッテ行ク、金利、倉敷料ヲ入レテ三圓、四圓ト上ル、若クハソレ以上上ルノハ算盤ノ上カラ當然デアアル、サウデナケレバ、ヤハリ地主ガ困ラウト思ヒマス、デアアルカラ米價ノ上ルト云フコトハ自然デアリ、地主ニ對シテモ迷

惑デナイト思フガ、細農ガ困ルト云フ議論ヲサレルノハ見當違ヒデアアル、米價ハ當リ前ナコトデアアル、細農ガ自分デ米ヲ作リナガラ、一年中自分ガ食フノニ足リルダケノ米ガナイ、有ッデモ他ノ金錢支出ノ爲ニ一時手放サナケレバナラス、又一年中ハ愚カ、數箇月シカ養フニ足ラヌカラ、後デ買ハナケレバナラス、斯ウ云フ風ナ生活狀態デアルト云フコトガ氣ノ毒ダ、ソレニ對シテノ對策ヲ講ズルノガ當然ノ合理的ノ途デ、ソレニハ副業トカ他ノ救済策デアルベキコトデアッテ、サウ云フ一旦賣ッタ米ヲ買フ、一旦賣ッタ米ヲ買フノデヤナイ、臺灣米ノ安イノヲ後デ買ッテ食フノモ澤山アリマスガ、サウ云フ風ニ一旦賣ッテ又後デ米ヲ買ハナケレバナラス、其時期ガ丁度米ガ高クナルト云フヤウナ實情ヲ目シテ、是ハ米價調節ヲシナケレバナラスト云フノハ間違ヒデアルト斯ウ私ハ思ヒマス、季節的調節ト云フコトハ、臺灣米ノ關係デモアリ、モウ其御考ハ御棄テニナッテハドウカト斯ウ思フノデアリマス、其點ニ付テ承リタイ

ソレカラ米價引上策、是ハ農林大臣カラ御伺シタイト思ヒマス、米價引上策ヲ講ジ

ラレテ、ソレハ先程農村ノ上モ下モ兩方ノ階級ニ都合ノ好イヤウニト云フ御話デアリマシタガ、ゾレハ二年位前マデハ皆其ヤウニ思ッテ居タヤウデアリマス、私共モサウ思ッテ居タノデアリマスガ、能ク考究シテ見マスト、サウデナイヤウデアリマス、米ノ値段ヲ引上ゲテ利益ヲスルト云フノハ、大キナ地主、賣ル米ヲ澤山持ッテ居ル地主、即チ米作地主ノ一割、サウ云フ階級ノ人ガ米ノ値段ノ上ルノ利益ヲスルト云フコトデ、其他農林省ノ御示シノ統計ニ依リマシテモ、日本ノ米作農家ノ四割三分ト云フモノハ、半分位ト云フモノハ米ノ消費者、一戸當リ三石三斗六升デアリマシタカ、サウ云フ數字ヲ費消シテ居リマス、是モ米ガ高クナッテハ困ル、養蠶農家ハ勿論ノコトデアル、ソコデ米價ガ上レバ何處デ反對ノ聲ガ出ルカ、ヤカマシクナルカト云フト、都會デノ消費者ハ割合ニ我慢シテオトナシクシテ居リマス、今日米價ガ三十三圓ニナッテモマダ都會カラハ聲ガ出マセヌガ、一昨年ノヤウナ凶作ニナルト、何時モ農村カラ米價高ニ對シテ起ル不平ノ聲ヲ御聴キニナッテラウト思ヒマスカラ、米價ヲ引上ゲルト云フコトハ必シモ農村ノ——吾々ノ目カラ見ルト、農村救済ハ中以下ニ著眼ス

ベキダト思ヒマス、サウ云フ方面ニハ米價高ハ迷惑ドラウト思フノデアリマスルガ、其點ヲ御伺ヒ致シタイ、尙ホソレニ關聯シテ、此米價引上策ニ依ッテ利益ヲ得ル者ハ地主中ノ一部ダ、是ハ御分リニナル、諸テ損害ハ——不利益ハドンナ者デアルカ、今申シタヤウニ、小農家養蠶農家、都會ノ労働者「サラリーマン」斯ウ云フコトニナル、又不自然ニ米價ヲ引上ゲレバ、工業ノ生産費ニモ影響致シテ參ルノデアリマス、サウシテ殊ニ日本ノ米ノ値段ヲ上ゲル爲ニ、朝鮮人ニ米ヲ食ハサウト云フノデアリマセウ、朝鮮ノ粟ニ迄關稅ヲ課ケテオ居デニナル、一石幾ラデアリマシタカ、二圓五十錢デシタカ、相當ノ關稅ヲ課ケテオ居デニナル、實行サレテ居ルドラウト思フノデアリマスルガ、サウ云フコトニナルト、サウ云フ方面ニモ迷惑ヲ掛ケルドラウト思フノデアリマス、殊ニ國庫ノ損失ハ、先程數字ヲ要求シテ置キマシタカラ後デ御知セヲ願ヘルドラウト思フノデアリマスガ、三億圓ニ近ヅイテ居ルドラウト私共ハ考ヘマス、重大ノ損失デアリマス、斯様ナコトデハ其利益少クシテ邊リ近所到處ニ迷惑ヲ與ヘルヤウニ思フノデアリマスルカラ、先程農林大臣ノ眞ッ正直ニ御話ニナリマシタヤウニ、

農村救済策トシテ米價引上策ヲ講ズルト云フコトハ、寧ロオ止メニナルト云フコトハ如何デアラウカト思フノデアリマスル、寧ロサウ云フ意見ハ齋藤内閣ノ當時私ハ委員會ノ席上デ申述ベマシタシ、其當時地主ノ苦ミト云フモノハ——地主ニ對シテモ私ハ同情スル、最近ノ農村救済ト云フ政治的ノ聲ガ非常ニヤカマシクナッタノハ、中階級ノ地主ノ實際ノ苦痛ノ聲カラ起ッタト私ハ信ジテ居リマス、ソレハ非常ニ同情致シマスカ、サウ云フ聲ノ起ルヤウニナッタト云フコトハ、サウシテ斯様ナ政治的ノ紛糾マデ起スヤウニナッタ原因ト云フモノハ、寧ロ私ハ米ノ値段ガ昭和五年ノ豐作ノ時ニハット一時下ッタ、サウ云フコトデハナクシテ——其時ニハ分量ガ穫レテ居ルカラサウデハナクシテ、此有ユル財源ヲ國ニ集メテ、サウシテ地方ニハ家屋稅一本ノ獨立シカナイ、其爲ニ地方デハ地租ニ對シテ三割四割ト云フ附加稅ヲ課ケル、戸數割ト云フモノヲ猛烈ナ戸數割ヲ課ケル、サウシテ組合ノ費用等モ非常ニ多イ、一例ヲ舉ゲレバ、所得二千圓程度ノ地主ノ納稅額ガ千三百幾ラ、其細目ハ此處ニ一々頭ニ譜記シテ居リマスルケレドモ、時間省略ノ爲ニ申上ゲマセヌガ、六割五分モ稅金ヲ地主ガ納メル、斯ウ云フ

關係ニナッテ居ルノデアリマス、斯様ニ國カラ若クハ地方カラ誅求サレ、バ疲弊スルノハ當リ前ダト私ハ思フノデアリマスカラ、斯ウ云フ點ニ改革ノ好イ途ヲ御設ケニナッタラドウカト思フノデアリマス、ソレハ既ニ內閣調査局デモサウ云フ聲ガ起リ、政治的ニ動イテ來テ居ルト思フノデアリマスカラ、此方ニ力ヲ注グト云フコトガ如何デアラウカ、之ニ付テ御伺ヲ致シタイ、又屢、農村救済、農村ノ疲弊ト云フ聲ハ、産業若クハ資力ノ弱イ東北、或ハ時々災害ノ起ル東北、サウ云フ處ニ救済ノ聲ガ起ル、此東北ノ地方ニ於ケル救済ノ聲ト、全國的ノ農村救済ノ聲トガ混合サレテ居ル處ガアルト思フノデアリマス、斯ウ云フコトハ私ハ他ノ機會ニモ申シタコトガアリマスガ、幸ニシテ既ニ東北振興ニ關スル會社トカ電力會社ト云フモノガ出來ル、是ハ洵ニ結構ナコトデアリマスルカラ、斯ウ云フコトニ力ヲ入レテ農村救済ヲ御ヤリニナルト云フコトガ宜イノデハナイカト思フ、農村ノ困ルノハ東北バカリデヤナイゾ、何處モ困ッテ居ルゾト呼フ者アリ、ソレカラ滿洲國ニ澤山ノ投資ヲスル、洵ニ必要ナコトデアリマスカ、併シ事業ノ方ヲ急激ニ滿洲デ——出來モシナイト言ッテハ何デアリマスガ、慌テ、

促進スル爲ニ、二億モ三億モ取急イデ投資
ヲスルト云フ風ニ、餘リ焦ッテサウ云フコ
トヲヤルヨリハ、寧ろ國內ノ東北ニ今度立
案サレタヤウニ、五千萬圓デモ一億デモ資
本ヲ投下スルト云フコトガ寧ろ餘程有意義
ナヤウニモ思ヒマスルカラ、斯ウ云フ機運
ニ向イテ居ル際デアリマスカラ、東北振興
及ビ一般的ノ全國的ノ農村救済ト云フコト
ハ他ノ方法デ御考ニナリマシテ、サウシテ
此米價政策、米ノ引上ニ依ッテ農村ヲ救済ス
ルト云フサウ云フ方針ニ付テハ反省ヲスル、
再檢討ヲスルト云フコトニ付テハ御考ハア
リマセヌカドウカ、之ヲ承リタイ

○島田國務大臣 政府委員ニ御尋ニナリマ
シタ點ハ政府委員カラ御答ヲ致シマス、只今
渡邊君ノ質疑ノ前提トモ見ラレル事柄ニ付
テ、米ノ對策トシテ米價ノ引上策ヲ政府ガ方
針トシテ居ルカノ如キ御言葉デアリマシタ
ガ、私ノ諒解シ又信ズル所ニ依リマスルト、是
ハ全ク政府ノ方針ト違ッテ居リマス、政府ハ
米ノ價ノ引上策ヲ方針トシテ居ルモノデハ
アリマセヌ、米ノ問題ニ付テハ、是ハ農村ノ
問題ト關聯シ其一部分デアリマスガ、大キナ
部分ヲ占メテ居ルノデアリマス、是ハ專門的
ニ其方ノ事柄ニ付テ御研究ニナッテ居ル渡邊
君ハ、其經過ヲ詳シク御承知ノコト、思ヒマ

ス、私共ノヤウナ極ク其道ノ素人ノ者デア
リマシテモ、米ノ問題ガ農村問題ノ中心ノ
ヤウニ段々ナッタト云フコトハ、餘程以前カ
ラ色々ノ經過ノアルコトヲ知ッテ居ルノデ
アリマス、殊ニ最近此農村ノ事情ガ非常ニ
悪クナリマシテ、經濟的ニ農村ガ更生振興
ヲ要スルト云フコトガ全國的ニ叫バレ、又
事實サウ云フ問題ガ實際ニ起ッテ居ル、ソ
コデ農村問題ヲ考ヘナケレバナラヌヤウニ
ナッタト云フノガ今日マデノ大體ノ經過ト
考ヘテ居ル、併ナガラ申スマデモナク米ニ
ハ同時ニ之ヲ消費スル大衆ガ居ルノデアリ
マス、農民自身モ米ヲ消費シテ居ルノデア
ル、ソレカラ農村ト云フモノハ農民ダケデ
ナイコトハ言フ迄モナイ、農漁山村ト言ヒ
マスケレドモ、農村ニハヤハリ小サイ規模
ノ商業者モ居リ工業者モ居ル、農村振興ト
云フコトハ農業者ノミノ振興ト云フ意味デ
ナイコトハ言フマデモナイ、ソコデ政府ノ
方針ト致シマシテハ、米ニ付テ先ヅ農作者、
サウ云フ者ノ點カラ考ヘマシテ、生産スル
者、消費スル者、此兩方ノ方面カラ考ヘ
テ、公正ナル米價ヲ維持シ——無論多少ノ
變動ハ今日ノヤウナ制度デハ、是ハ專賣ト
カサウ云フコトニ致シマシテモ免レヌカモ
知レマセヌガ、今日迄ノヤリ方デハ其變動

ガ激シク、ソレデ豐年ニナレバ農民ハ豐年
饑饉ト云フヤウナコトモアルヤウナ場合ガ
起ルト云フノデ、公正ナル價格ト云フノ
ハ、消費者ニ取ッテモ是ハ已ムヲ得ナイト
シテ承認スル程度デアリ、生産者トシテ
モ生産費ヲ割ルヤウナコトノナイ程度ノモ
ノデアルト云フ、ソコニ米價安定ノ意味ガ
アル、サウシテソレハ需要供給ノ關係カラ
シテ是ガ又量ノ調節ト云フコトニナルノデ
アリマス、量ト價ノ兩方ノ關係カラ調節安
定ヲ圖ルト云フコトガ大體ノ方針デナケレ
バナラヌシ、又ソレヲ方針トシテ居ルト思
フノデアリマス、然ルニ臺灣、朝鮮ノ經濟
事情ガ段々進歩ヲ致シタ結果、朝鮮、臺灣
ニ於テ米ガ非常ニ澤山出來ルヤウニナッタ、
其關係カラ致シマシテ内地ノ米作者ニ影響
ヲ及ボス、ソコデ内地、外地ヲ通ジテ今度
ハ量ト價ノ調節ニ問題ガ擴ゲラレテ行ク、
米自身ニ付テハサウ云フ徑路ヲ取ッテ居ル
ト今考ヘテ居ルノデアリマス、隨テ此引上
策ガ主トシテ地主ダケノ利益ニナルトカ、
便宜ニナルトカ云フヤウナ事柄ハ、只今渡
邊君ノ質疑中ニ御述べニナリマシタヤウナ
御意見ヲ前提トスレバサウ云フコトニナ
ル、併シ政府ハサウ云フ風ニ考ヘテ居ラヌ
ノデアリマス、是ハ議論ヲスレバ俗ニ言フ

見解ノ相違ト云フコトデアッテ、結局水掛論
ニナル、政府ハ左様ナ立場カラ言ッテ居ルノ
デハナイ、個々ノモノニ付テハ、或ル場合
或ル時ニハ地主ノ利益ニナッタコトモアリ
マセウ、或ル時ニハ又小サイ米作者ノ利益
ニナッタト云フコトモ言ヘルデアリマセウ、
併シ是ハ大體ノ上カラ議論シテ申ス次第デ
アリ、又政府ハ大體カラ此方針ヲ取テ行
ク譯デアリマス、其意味カラ言ヒマスト、
現行ノ統制法ガ制定サレルニ至ッタ經過ヲ
見マシテ、統制法自體ヲドウスルカト云フ
問題ガ亦アルノデアリマス、ソレハ私ハ大
イニ考ヘナケレバナラヌ、ソコデ米ノ問題
ニ付テ政府ノ只今提案シテ居ル法案ニ對シ
テ反對ノ意見ヲ持ッテ居ラレル方々ニ對シ
テ、此間本議場デモ申シタヤウニ、此法案
ガ終局ノモノデハナイ、ドウシテモ米ニ付
テハ農村問題ヲ中心トシテ根本的ナ解決策
ヲ立テナケレバナラヌ、ソレニ至ル迄ノ間
統制法デヤッテ居ッテハ政府ノ負擔モ困ル
シ、又實際關係者ガ各方面ニ於テ困ル事情
ガアルカラ、此法案ヲヤッタト云フコトラ一
寸御諒解ヲ願ヒタイト思ヒマス、引上策ヲ
執ッテ居ルト云フコトニ付テハ、政府ノ方針
ハサウデハナク、生産者、消費者兩方ノ事
情ヲ考慮シテ公正ナル價ニ米ノ價ヲ安定サ

セタイト云フコトガ米ニ關スル方針デアル
ノデアリマス、尙ホ農村問題ガ東北地方ノ
問題ト混同セラレル虞ガアルト云フ御意見
ニ對シテモ、是ハ御意見デアルカラ私ハ申
シマセヌ、併シ私ハサウデナイト考ヘル、
農村ノ事情ガ段々窮迫シテ、其窮迫シタ結
果、普通ノ場合ニ於テハソレ程ニ叫バレズ
考ヘラレヌモノガ、窮迫ヲスルニ從ッテ著
シク窮迫シタモノガ特ニ現ハレテ來テ、ソ
レガ東北地方ノ問題トナッテ居ルノデアリ
マス、東北地方ノ困ル程度ト他ノ地方ノ困
ル程度トガ、或ハ程度ニ於テハ違フカモ知
レマセヌガ、大體ニ於テ我國ノ農村ハ人口
ノ關係其他ノ關係カラシテ非常ニ困ッテ居
ルノデアリマス、其意味カラシテ混同ト云
フ言葉ガ使ヘルナラバソレハ混同カモ知レ
ヌケレドモ、農村全體ガ困ッテ居ル、其農村
ノ中ニハ農民バカリデハナイ、商業者モ居
レバ工業者モ居リ、種々ナ者ガ居ル、又「サ
ラリーマン」モ居ルト云フコトヲ御考ヘ下
サレバ、農村問題デアルカラ、米ノ問題ヲ
考ヘル、百姓ダケノ問題デアルト云フ風ニ
考ヘルノハ、非常ニ吾々ト意見ヲ異ニシテ
居ルヤウニ思ヒマス、併シ是ハ所謂意見ノ
相違ト云フコトデアリマスカラ、此以上ニ
御答申上ゲルコトハ差控ヘタガ宜カラウト

思フノデアリマス、又同ジ意味ニ於キマシ
テ、對滿投資ノコトニ付テモ、滿洲ニ對シ
テ急激ニ資本ヲ投下スルヤウナコトハドウ
カト云フ御議論モ、或ハ内地ノ農村問題カ
ラ考ヘテ、内ガ大切デハナイカト云フコト
ト、滿洲ニ急激ニヤルト云フコトトハ、反
對論法トシテハ別ノヤウニ私ハ判斷スル、
若シ違ヘバ私ハ申シマセヌガ、滿洲ノ問題
ハ滿洲ノ問題デアル、大キナ國家ノ經營ト
云フコトカラ言ヘバ、滿洲ニ對シテハ滿洲、
農村ニ對シテハ農村、商業者ニ對シテハ
商業者ト云フ風ニ言ッテ、コッチニ金ヲ多
ク入レルナラバ此方ニ入レタラ宜イデヤナ
イカト云フ議論ハ、國ノ經營經綸上カラ言
ヘバ、サウ云フ議論ノ比較論ヲスルコトハ
避ケナクテハナラヌダラウト思フノデアリ
マス、其以上ハ申シマセヌ、尙ホ季節調節
ノコトニ付テハ政府委員カラ御答スルデア
リマセウガ、是モ渡邊君ノ御意見ノヤウニ
スレバ、季節調節無用デハナイカト云フ御
議論ニナリマスガ、政府ハサウ云フ風ニ思
ヒマセヌ、ヤハリ或ル程度ニ於テ季節調節
ヲスルノ必要ガアル、斯ウ云フ見解ヲ持ッテ
居ル次第デアリマス、是ダケ申上ゲマス
○渡邊委員 今言ハズモガナノ滿洲ノ比較
ヲ申上ゲタ爲ニ三分ナリ時間ヲ費シマシタ

ガ、其問題ニ付テハ大臣カラ御言葉ガアリ
マシタカラ、私ハモウ此先ハ一言モ申上ゲ
マセヌ、本題ニ歸リマスガ、只今ノ農林大
臣ノ御言葉デアルト、實ハ先程農村救済ノ
爲ニ米穀政策ヲヤルト云フ御話デアッタノ
ト幾ラカ違フヤウデアリマスガ、實際昭和
五年來ノ米穀政策ハ、農村救済ノ爲ニ米價
ヲ引上ゲルト云フコトヲ政黨モ御主張ニナ
リ、其爲ニ非常ニ熱心ナ運動ノ結果色々ナ
方策ヲ講ゼラレタコトハ世間周知ノコトト
思ヒマスカラ、今日マデノ米穀政策ハ米價
引上策デアッタ、ソレヲ以テ農村救済ノ效ヲ
爲スモノデアルト考ヘテオキデニナッタモノ
ダト私ハ看做シタイト思ヒマス、マア觀察ガ
違ヘバ別デアリマス、併シ後デ申サレマシ
タヤウニ、此米價ノ最高最低ヲ調節スルノデ
アルト云フ御考デアレバ、即チ高橋大藏大
臣ガ米穀法ノ當初時代カラ申サレマシタヤ
ウニ、繰返シ議會デ申サレテ居リマスヤウ
ニ、生産者及ビ消費者兩方ノ利益ヲ調和ス
ル、其趣旨ヲ徹底スルナラバ、私ハ米穀政
策ヲヤッテ何億ト云フ金ヲ浪費シテ、大變ナ
官廳事務ヲ起シテ、サウシテ社會的ノ紛糾、
政治的ノ紛糾ト云フモノヲ招致スル必要ハ
ナイ、自由放任ニスルヨリ外途ハナイト思
フノデアリマスガ、併シ此點ニ付テハ實ハ

農林大臣ノ御私見モ私ハ存ジテ居リマスカ
ラ、餘リ根本的ノ理論ガマシイコトハ此處
デ避ケマス、ソコデ此米穀自治管理法ハ米
穀統制法ノ缺陷ヲ除去スルト云フ趣旨デ制
定サレヨウトスルト思フノデアリマス、勿
論アノ米穀統制法ニハ驚クベキ缺陷ガアル
ト思フ、法律ノ立前カラシテアノ最低價格、
生産費ヲ以テ買上ゲルト云フコトニナッテ
居リマス、米穀法時代ノ生産費最低價格ニ
依リ買上ゲルト云フ立前ナラバ大シタ問題
ハ起ラス、併シ其生産費ノ内容ハ農林事務
當局ノ方ハ憤慨サレルカモ知レヌガ、私カ
ラ申セバ杜撰極マルモノト思フ、隨ッテソレ
ヲ確メル爲ニ先程色々材料ヲ要求シタノ
デアル、此法案ヲ審議スルニ當ッテ、ソレヲ
私ガ審議シテ的確ニ世上ニ所信ヲ傳ヘルト
云フ機會ハ、恐ラク此審議ノ促進ノ模様デ
ハ之ヲ失フト思ヒマスルガ、併シ此生産費
ト云フモノハ杜撰極マルモノト思フ、僅カ
二千軒位ヲ御調べニナッテソレガ正シイ價
格ダト申サレル、私共ノ眼ヲ以テスレバ、ソ
レハ全國ノ生産費、全國ノ消費者何百萬何
千萬、朝鮮臺灣ニモ「ラヂオ」ノ如クニ需要
供給ノ關係ガ張ラレテ居ル、先般臺灣ノ農
作地ヲズット見テ廻ッテモ、「ラヂオ」デ必ズ
日本ノ相場ヲ毎日聽ク、ソレニ依ッテ賣買

ヲシテ居ル、サウヤッテ折角從來アツタ價格成立ノ方式ソレガ益「ラヂオ」等ニ依ッテ近代化シレテ來テ居ルノニ、ソナモノヲ叩キ破ッテシマッテ、農林省ノ官吏ノ方ガ一千軒カ二千軒カ御調ベニナリ、中ニハ僞リモアラウト思フガ、サウ云フモノヲ基礎トシテ斯ウ云フ生産費ノ基礎ヲ御作りニナルト云フコトニ私ハ非常ナ危險ヲ感ジ、居リマシガ、ソレモ米穀法時代ノ百萬石カ二百萬石、時ニ應ジテ買フト云フノナラバ、忍ブベシト致シテモ、幾ラデモ持ッテ來イ、此價格デ買ッテヤルゾ、ソウシテ一千萬石モ一千百萬石モ買ハサレテハ政府ハ財政ニ損失ヲ招ク、サウ云フ風ナ基礎ニ此生産費ヲ御使ヒニナルト云フコトハ、私ハ大膽極マルト思フノデアリマスガ、ソレ程ノ自信ヲ此生産費ニ付テ持ッテオ居デニナルト、雖デ此生産費ト云フモノハ、今後ノ法律ニモ其儘使ハレテ行クト存ズルノデアリマス、生産費ニ關スル自信ノ點、ソレカラ此米穀統制法ノ精神ハ、生産費ヲ保障スル、是ハ全ク農村救済ノ精神デアアル、米價引上策デアルト云フ、ナイト言ハレテモソレハ誰モ領ク者ハナイト思フノデアリマスガ、サウ云フ風ニ任意ナ最低價格ト云フモノヲ決メテ、是デ幾ラデモ買ッテヤル、ソレヨリ下レバ幾ラデ

モ買ッテヤルト云フノデスカラ、農民ハ幾ラデモ最低價格ニ近ヅケバ勿論——是ハ雖デ増産獎勵ニナルノデアリマス、内地デ一割増セバ朝鮮臺灣デハ三割五割ト餘計作りマスカラ、此米穀統制法案ト云フモノハ、即チ過剩米製造、過剩米ト云フモノハ私ハナイト信ジマスガ、サウ云フ言葉ヲ使フナラバ、米穀統制法案ト云フモノハ過剩米製造法デアリマス、又ノ名ヲ申セバ外地米生産獎勵法デアリマス其實質ハ……斯ウ云フコト益、外地米ノ増殖ヲ促進スルト云フコトニナタノデアリマシテ、斯様ナコトハ此立法當時カラ私共ハ憂慮致シテ居ッタノデアリマシガ、到頭一千萬石以上モ買ハサレルト云フコトニナッタノデアリマス、隨テ財政上ノ損失ハ非常ニ重大ナコト、ナルト思フノデアリマス、ソコデ此米穀統制法案ノ缺陷ヲ直ス爲ニ、自治管理法ヲヤルノダ、斯ウ云フ御話デアリマス、其點ニ付テ、此米穀統制法ノ缺陷ヲ改ムルニ付テ自治管理法案ガドウ云フ效能ガアルカト云フコトヲ承リタイ

○島田國務大臣 生産費調ノ現在ヤッテ居リマスヤリ方ガ正確デナイト云フ點ニ付キマシテハ、是ハ程度問題デアラウト思ヒマス、ソレデ先刻材料トシテ御要求ニナリマシタ各戸數ニ依ッテ調ベタ全部ノモノヲ、是ハ此委員會ニ提出シテ御覽ヲ願フヤウニ整理ガ出來ルカドウカ取調ベテ見ナケレバ分リマセヌガ、併ナガラ現在内地ノ米ノ生産費ニ付テヤッテ居リヤリ方ハ、相當技術的ニ進歩ヲシ完備ヲシテ居リマス、無論ヨリ以上ノ完壁ヲ求メル意味ニ於ケルヤリ方ト云フモノハ考ヘラレマセウ、併ナガラ結局ハ其多クノモノヲ集メテ平均ヲシテ見ル、是ハ統計ノ原則トシテサウナルヨリ外仕方ナイノデアリマス、其出タ所ノモノガ、非常ニ常識ニ外レタヤウナモノガ出テ來マシレバ、是ハ又大イニ考ヘナケレバナラヌ事柄デアリアリマスガ、大體自分ガ知ッテ居リマスルコトニ付テ申シマス、是マデ調ベテ政府デ決メマシタ最高最低ノ價格ト云フ生産費ヲ中心ニシテ決定シマシタモノハ、常識外レノモノガ出テ居ルト思ヒマセヌ、是ハ尙ホ之ヲ詳シク精密ニシ費用ヲ掛ケテヤリマスレバ、モット精密ナモノハ出來デアリマセウ、併ナガラ大量觀察トシテ得ラレル平均ノ一本ノ値段トシテ出テ來ルモノハ、今日政府ガヤッテ居ルモノト餘リ變ッタモノガ出テ來ルトハ——ソレハ是バカリデハナイ、統計ノ運用ノ原則ノ上カラサウナルト信ジテ居リマス、ソレデアルカラ現在ノ生産費ハ的確ニシテ誤ナキモノデ

アルト云フコトヲ絶對的ニ斷言ハ致シマセヌ、併シソレハ或ル程度ノ違ヒハアルケレドモ、大體ニ於テ正シイモノト斯様ニ考ヘテ居リマス、此意味ニ於キマシテ、先刻ノ引上策云々ト云フコトニ觸レテ此場合申上ゲテ置キマスガ、引上ノコトガ喧シク言ハレタ徑路ハ私ガ申上ゲル迄モナイガ、其當時ニ於テハ農産物ガ非常ニ下落ヲシマシテ、實際ニ米バカリデハナイ、其外ノ物モ引合ハナイ、ソレデハ農村ガ非常ニ困ル、農民ノ困ル根本原因ハ農作物ガ非常ニ生産費ニ引合ハナイ所デハナイ、殆ド作ルコトガ出來ナイト云フ程度ニ下ッタヤウナ時代ガアル、ソレデハ農民ガ立行カナイ、農民ガ立行カナケレバ隨テ農村ガ立行カナイ、農村ガ立行カナケレバ全國ノ經濟狀態ガ惡クナリ不景氣ニナル、斯ウ云フコトニ原因ガアツタノデアリマス、ソコデ其當時ハ少クトモ生産費マデニハヤラナケレバカス、斯ウ云フコトガ叫バレ、吾々モ叫ンダノデアリマス、其意味ニ於テハ引上策、併ナガラ生産費ヲ超過シテモ幾ラデモ高ク賣リサハスレバ宜イト云フコトハ、政府ノ企圖シテ居ル所デモナシ、又政黨モ左様ナコトヲ企圖致シテ居ッタ譯デナイコトハ申スマデモナイコトデアリマス、

マア其點ハ生産費ニ關スル事柄デアリマス
ガ、ソコデ此統制法ノ現在ノ法律ノ缺陷ヲ
補強スル意味ニ於テ只今ノ法案ガ出タ、其
通りデアリマス、併シ之ヲヤレバ結局増産
ヲ來シテ一方ニ於テハ増産ノ獎勵ニナル、
サウシテ殊ニ外地ニ於テハサウ云フコトニ
ナルノデハナイカト云フコトヲ申サレマシ
タガ、ソレハ御意見トシテハ大體或ハサウ
云フ傾向モアルモノト思フ、併ナガラ今度
食料問題ト云フ全體ノモノカラ言ヒマス
ト、兎ニ角國ノ人口ハ年々百萬ヅ、殖エテ
居ルノデアリマスカラ、以前ニ於テハ人口
ノ問題カラシテ、人口食料ニ付テ政府ハ特
別ノ委員會ヲ拵ヘテ居ッタト云フヤウナ工
合デ、其前ニハ米ノ増産ヲ非常ニヤラナケ
レバモウ食料ガ足ラヌト云フ次第デアル、
政府ノスルコトハ杓子定規ニ事ヲスルコト
ガゴザイマス、政治ノ總テノ上ニ於テ一樣
ニ出來ナイコトデアリマスカ、或ル場合ニ
増産ヲスル、サウスルト、其増産ガ行過ギ
テ過剩ニナル、ソコデ之ヲ又調節シナケ
レバナラス、サウスルト始終物ニハ伸縮ト
云フモノガアル譯デアリマスカラシテ、
其點ニ於テハ只今ノ統制法ノ實施、之ヲ
強化スル意味ニ於テ今ノ法案ヲ作ル、段々
サウ云フ風ニシテ行ケバ、結局増産ニナル

ノデハナイカト云フコトハ、其傾向ノアル
コトハ認メマス、認メルガ故ニ此點ニ付テ
ハ朝鮮、臺灣、又内地ニ於キマシテモ、政
府トシテハ大イニ實施ニ當ッテ考慮シナケ
レバナラスコトガアルデアラウト思フ、斯
ウ云フ風ニ自分ハ考ヘテ居リマス、隨テ此
統制法ガ直チニ、或ハ自治管理法ガ直チニ
増産計畫ノ原因ヲ作スモノ、増産計畫其モ
ノト云フ御議論ニハ承服スルコトガ出來ナ
イ、増産計畫ニナルト云フ傾向ノアル點ヲ
認メテ、之ニハ相當ノ注意ヲシナケレバナ
ラヌモノデアル、又是ハ行政上ノ方法トシマ
シテ相當ノ注意ガ拂ハレテ居ル、附帶決議
ニモ其趣意ガ現レテ居リマス、斯ウ云フヤ
ウニ自分ハ考ヘテ居ル次第デアリマス、尙
ホ統制法ノ補強ト云フ點ニ付テハ本會議デ
モ申上ゲタト考ヘマスガ、現在ノヤリ方ニ
シマスト、政府ハ御話ノ通りニ一定ノ價格
ヲ下ツタ場合ニ於テ、希望ガアレバ幾ラデモ
買ハナケレバナラス、斯ウ云フコトハ中々
財政上モ困難ヲ伴フコトデアリマスカラ、
之ヲ自治的ニ管理セシメル、銘々ノ國民ニ
於テ貯藏管理ヲセシメルト云フ制度ニシマ
スレバ、政府ノ買上ノ數量ガ少ナルコト
ハ固ヨリ、又價格數量ニ於テ非常ナソコニ
自治的管理ガ行ハレル、自治管理ノ行ハレ

ルト云フ所ガ、此統制法ノ缺陷ヲ補フ意味

ニ端的ニナル、斯様ニ考ヘテ居リマス

○渡邊委員 只今最後ニ、米ノ問題ハ難カ

シイノデ色々コトヲヤッテ居ル、多過ギタ

リ少ナ過ギタリスル、ソレデ色々コトヲ

ヤルト云フヤウナ御話モアリマシタガ、實

ハ其點ハ他ノ機會デ私ハモット申述ベヨウ

ト思ヒマス、色々コトヲヤラレルカラ、

多過ギルヤウニナッタリ、又無暗ニ少ナ過ギ

ルヤウニナルヤウニ思フ、何ニモナサラナ

ケレバ、ソシナ大キナ變化ハ起ラナイト云

フ風ニ思フ、サウ云フ風ニ私ハ思ッテ居ル

ト考ヘ方ダケヲ申上ゲテ置キマス

〔發言スルモノアリ〕

○東委員長 靜肅ニ……

○渡邊委員 ソレカラモット具體的ナ問題

ニ入りマシテ、臺灣ト朝鮮ノ代作獎勵法、朝

鮮ノ方ハ能ク存ジマセヌガ、是ハ拓務大臣

ノ方カラ——モウ居ラレナイ、ソレデハ農

林大臣ニ伺ヒマス

○東委員長 拓務省ノ政府委員ガ居リマ

ス

○渡邊委員 代作ヲ臺灣デヤッテ居ルノヲ

現實ニ昨年臺灣ニ行ッテ見テ參リマシタガ、

現ニ内地デ米ノ最低價格ヲ作りマスルト、

臺灣ノ農村デハ爆竹ヲアゲテ御祝ヲスルサ

ウデアリマシテ、米ガ高クナルゾト云フノ

デ、ドン／＼作ルサウデアリマス、ソレデ

抛ッテ置イテモ益、自然ニ餘計出來ル、殊ニ

從來ハ大變ヲ補助金ヲヤッテオ居デニナッ

ノハ當局御認メノ通りデアリマス、其數字

等モ申上ゲマセヌガ、獎勵金ハヤル、値段

ハ高クスルト云フコトデアリマスカラ、

ドン／＼生産ヲシテ内地ニ入ル、斯ウ云フ

コトニナッテ來ル、ソコデ慌テ、又代作ノ

獎勵ヲオヤリニナル、斯ウ云フコトニナ

ル、例ヘバ米田ヲ潰サシテ麻ヲ作ラセル、折

角今マデ獎勵金ヲヤッテ居ッタノガ急ニ態度

ガ變ッテ、又ソレヲ潰サス、潰サツニハ獎

勵金ヲヤル、此獎勵金ノ金額等モ御伺シタ

イト思フノデアリマスカレドモ、兎ニ角臺

灣米ヲ百萬石位ノ分量デ減産ノ目的ヲ御

達シニナッタ、併シ其場所デハサウデアッ

テモ、是ハ臺灣ニ參ッテ驚イタノデアリマス

ガ、無斷開墾ト申シマシテ、基隆ノ山ノ上

ヤ、大甲溪ノ何時水ガ來ルカ分ラヌ、自分

ノ土地デナイ國有地ニドン／＼百姓ガ無斷

開墾ヲ致シテ居リマス、サウ云フコトヲシ

テ米ノ値段ヲ高クシテ儲カルヤウナコトヲ

スレバ——先日本會議ノ席上デ拓務大臣ガ

巧イコトヲ仰シヤッタ、本當ニ拓務大臣ハ算

盤ヲ能ク知ッテ居ラレタト思ヒマスガ、誰

デモ儲カラヌモノヲ作レト云ッテモ作ラヌ、幾ラ棉ヲ作レト云ッテモ作ラヌ、臺灣デハ勿論ノコト、又農村方面デモ此頃ハ經濟上ノコトヲ能ク知ッテ居ルノデ、無理ナコトヲ云ヘヌト云ッテ居リマスガ、結局儲カル米ハ作ルト云フコトニナリマス、サウシテ値段ヲ一方ニ高クシテ、作ラシテ、サウシテ補助金ヲヤッテ無理ニ潰サス、斯ウ云フコトハ洵ニ無益ナコトノヤウニ感ジマスルガ、其點如何、實情カラ先ヅ……

○島田國務大臣 代作獎勵ノコト、竝ニ米作獎勵ノコトハ、事實トシテハ渡邊君ノ申サレル通りデアリマス、金額獎勵費等ニ付テハ是ハ後ニ政府委員カラ御答ヲスルデアラウト思ヒマスガ、是ハ先刻前ノ御答ノ際ニ私が申上ゲタ中ニ含マレテ居ルト考ヘマスガ、是ガ即チ私ハ政治ダト斯ウ思フ、多數ノ國民ヲ相手ニシテヤル時ニ、一ノ方針ヲ以テ、ソレガ先刻御話ニナッタヤウニ「ラデオ」デ放送スルノガ一齊ニ知レテ、サウシテ知レタモノガ直グ行ハレ、バ、ソレハ極メテ政治ハ簡單ナモノナンデアルガ、中東京デ方針ヲ樹テ、中央デ方針ヲ樹テタモノガ地方ニ徹底スルト云フコトハ容易デナイ、相當ナ時間ヲ食フモノデ、紆餘曲折ヲ經ルノデアリマス、ソコデ或ル方針ヲ樹

テルト、其方針ガ徹底シテ、稍、其目的ヲ達シタト云フ時ニハ行過ギテ居ルト云フコトガ多い、ソレガ私ハ政治ノ常態ダト思フ、ソコデ米作ノ獎勵ヲスルト云フコトハ、人口問題カラシテ、食物ガ不足スルト云フノデ米作ノ獎勵ヲヤル、開墾助成ヲヤラネバナラヌト云フノデヤルト、ソレガ徹底シタ時ニハ行過ギテ居ル、ソコデ今度ハソレヲ縮メル、縮メルコトヲヤリマスと云フト、縮メル方針ガ徹底スル時ニハ米ガ少ナ過ギルヤウニナル、是ハドウモ何千萬ト云フ國民ヲ相手ニシテ、假令小ナリト雖モ、此大キナ帝國ノ版圖内ニ政治ガ普遍シテ行ク場合ニハ、左様ナ伸縮ノアルト云フコトハ當然ノコトダト自分ハ思フ、ソコデ或ル場合ニハ米作ノ獎勵ヲシテ、朝鮮ニモドン／＼出來、臺灣ニモ出來、ソレガ出來タ結果行過ギテ居ルト云フ現象ガ茲ニ起レバ、ソレニ對シテ相當ナ「ブレイキ」ヲ掛ケテ、ソレヲ掣肘スル所ノ方策ニ出ナケレバナラヌ、即チ現在ノ狀態カラ申シマス、數年前ノ豐作ノ後ヲ控ヘテ、昨年、一昨年ハ凶作デアリマシタケレドモ、ヤハリマダ前ノ豐作時代ノ米ガ殘ッテ居ッテ、之ヲ調節スル、本年若シ米ガ豐作、或ハ平年作、若クハ以上ニナッタナラバ是ハヤハリ端的ニ政府ノ

負擔トナリ、サウシテ此法ノ運用ガ直グ起ルノデアリマス、ソレナラバ今日ニ於テ今年ノ凶作ヲ豫見スル者モナケレバ、豐作ヲ豫見スルコトハ出來難イ事柄デアリマスカラ、今ニシテ此準備ナリ用意ヲシテ置カナケレバナラヌ、ソコデ政治ノ方針トシテ、米ハ本年モ作り、來年モ作ルノデアルカラ、是ハサウドン／＼出來テハ困ルトスレバ、代作ノ獎勵モシナケレバナラヌ、即チ代作ノ獎勵ガ方針ダト斯ウ言ッテ、臺灣ノ米田ガ悉ク他ノ畑ニナッテシマフコトニナッテハ、又是ハ困ル事情ガ起ルデアラウト思フ、ソコデ政府ノ方針ガ一定シナイデヤナイカト云フ議論ニナルカモ知レナイガ、一定シナイノデハナイ、一定セザル所ニ一定シタ方針ガアル、斯ウ云フ風ニ自分ハ考ヘテ居リマス

○渡邊委員 今ノ御答辯ハ、人口問題カラ増殖シナケレバナラヌ、餘リ多クナッテハ制限シナケレバナラヌ、ソレハ私モ諒承致シマスケレドモ、ソレハ程度問題デアッテ、丁度産業組合ノ運動ト同ジデアリマス、是ガ誰モ認メテ妥當ト思フヤウナコトヲヤッテ居レバ宜イガ、餘リ傍若無人ナコトヲヤレバ、又其弊ガ叫バレルト同ジコトデアリマシテ、米ノ生産モ増産獎勵ト云フノデ、夢中

ニナッテ、補助金ハ四割或ハ五割三分マデ出ストカ、低利資金ヲ無暗ニ出スト云フヤウナコトデ、只デ米作ガ出來ルニ近イヤウナコトデ、急イデ開墾スル、又多過ギテ値段ガ下ルト、慌テ、米ヲ引上ゲテヤルカラト、何億ト云フ金ヲ出ス、而シテソレデ値段ガ上ッタカラト云ッテ今度ハ直グニソレヲ潰ス、代作獎勵ト云ッテ其稻田ヲ潰ス、斯ウ云フコトヲ短時日ノ間ニマルデ眼ノ廻ルガ如ク、走馬燈ノ如ク政府ハ政策ヲ變ヘテヤッテオ居デニナル、而モソレデドレ位役ニ立ツカト云フト、私共ノ見ル所デハ國帑ヲ費スダケデ無益ノ勞ニ終ッテ居ルヤウニ思フ、多少ノ開墾獎勵ノ方ハ認メマスケレドモ、其他ノ工作ニ付テハサウ云フ感ジデ伺ッタノデアリマスガ、何モ政治的工作ヲスルナト云フ意味デハ勿論ナイノデアリマス、ソロ／＼時間ガナイノデスガ、時間ノ制限ヲサレテ居ルト云フコトハ甚ダ……

○東委員 大丈夫デス、心配シナクテモ宜シイ

○渡邊委員 先ヅ米穀自治管理法案ノ大綱ニ付テ御伺ヒ致シタイト思ヒマス、此米穀自治管理法案ハ昨年議會ニ出マシタノデ、非常ニ反對運動ガ響イタノダラウト私共ハ承知致シテ居リマス、議會開設以來ノ民衆

運動デアッデ、ソレガ院内ニ響イタト致シマスレバ、是デコソ議會政治ノ眞價ヲ發揮シタモノト私ハ喜ンデ居タノデアリマス、併シ結局ハ農林大臣ノ本會議デ御發表エナッタコトニ依ッテモ、政民兩黨全會一致デ可決シタ、サウ云フ風ナ御話ノヤウニ、誤リデナケレバ、承知致シマシタガ、斯ウ云フ内情ハ私共立入りタクナイノデアリマスルガ、必要デ已ムヲ得マセスカラ一言申シマス、其時ノ法案審議ノ情勢、或ハ附セラレタル希望條件等ノ空氣カラ申シマス、殆ド否決ニ近カッタヤウニ思フノデアリマス、或ハ握リ潰シ的ニ、ガ或ル政治上ノ空氣ガ急激ニ變動シタ爲ニ、急ニ、又事情ガ變ッテ可決サレタト云フ風ナ形ニアルト私共考ヘテ居リマスガ、兎ニ角貴族院ヘ參ッテ全ク審議ニ手モ著ケナイデソレガ潰レタ、斯ウ云フ法律案デアリマス、ソコデ先程申シマスヤウニ、此法案ハ中々因縁ノ多イモノデアリマス、サウシテ先程申シマシタヤウニ、兎ニ角今迄ノ米ノ法律案ト云フモノハドレガ出テ來テモソナ反對ハナイ、多少ノ不平ガアッテモ、ソレデ納ッテ居ッタノデアリマスルガ、此法律案ニ限ッテ全國ヲ搖ガサウナ大騒ギヲ致シテ居リマスルガ、何故サウ云フ事情ガ起ル

カト云フコトハ、農林大臣モ御考ヘニナッテ居ルダラウト思フ、ソコデ總理大臣ニ御伺ヒ致シタイノデアリマスケレドモ、マア農林大臣ニ御伺ヒ致シテ見タイト思ヒマス、此自治管理法案ガ斯様ニ今マデノ米穀法案ニナイ非常ナ反對運動ガアルノハ何處カニ重大ナ缺陷ガアルニ相違ナイ、常識デ考ヘテ……左様ナ法案ヲ此短期ノ特別議會ニ掛ケテ、サウシテ驚クベキ彈壓ヲシテ、言論ノ壓迫ヲ致シテマデモ是非共通過サセナケレバナラスト云フコトヲ十分ニ説クニ足ルダケノ理由ガアルカラ御伺ヒ致シタイノデゴザイマス、ソコデ其彈壓ノ模様ヲ一言申上ゲマス、此法案ノ反對運動ヲ致シテ居ル者ガアルコトハ御承知デアリマスガ、如何ナル會合ヲ致シマシテモ内務省カラ驚クベキ彈壓ガアルノデアリマシテ（内務大臣ヲ呼ンデ貰ヘバ宜イデヤナイカ）ト呼フ者アリ）是ハ議會トシテ重大ナ問題ダト私ハ思フ

○東委員長 必要ガアッタラ呼ビマス

○渡邊委員 勿論必要ハアリマス、最初ニ總理大臣ニ申上ゲタイト云フコトヲ一言申上ゲテ置キマス、此處デ一應申シマスガ、總理大臣ニハ他ノ點デモ又承リタイ點ガアリマスカラ、總理大臣ニハ他ノ點デ一ツ質問

ヲ保留シテ置キマス、マア農林大臣ニモ一應申上ゲマス、總テノ會合デ此自治管理法ニ關シテ議論スル場合ニハ——研究スル場合ニハ、此一年來必ズ警官ガ中ニ入ッテ居ラナケレバ審議スルコトヲ許サナイ、所ガ今回此法案ガ提案サレマスル以前、此戒嚴令デアリマスガ、戒嚴令ト云フ名ヲ藉ッテ内務省デハ驚クベキ彈壓、戒嚴令ハ何カ、軍人ノ不心得デ以テ二・二六事件ヲ起シタ其爲ノ戒嚴令ダカラ、其方ノ取締サヘスレバ宜シイ、又通常議會開會中ニ於テ行ハレル平素ヨリ重イ取締、其限度ヲ吾々知ッテ居リマスガ、今度ノ此自治管理法案ニ對スル運動ニ對シテモ取締ハ唯戒嚴令下ノ東京ばかりデハナイノデアリマシテ、全國的ニ實ニ言語道斷ナ狀態デアリマス、例ヘバ東京ニ全國ノ代表ガ昨年暮集ッタ、全國三府四十三縣、北海道、又臺灣カラモ此問題ノ爲ニ代表者ハ全部揃ッテ集ッタ、集ッタノハ宜イガ、産業組合ト協調スルコトノ相談ナラ許スト云フコトデ集ッタガ、米穀自治管理法案ニ關シテハ其可否如何ニ拘ラズ、一言タリトモ審議スルコトハ許サナイ、諸テ此法案ガ帝國議會ニ上場サレマシタ、サウスルト今度ハ一層彈壓ガ激シクナリ、内務省カラ命令ガ來テ、却テ地方ノ警察官ハ、此法案ノ不可ナルコ

トヲ一年間演說會デ聽カサレテスカリ知リ抜イテ居ルカラ、地方ノ警察官ハ同情シテ居ルガ、内務省カラ非常ナ命令ガアル、又運動本部ニ行ッテ、強制的ニ電報ヲ打テ——一府縣一名ヨリ上京シテハイケナイゾト云フ電報ヲ打テト強制シテ、其電報ヲ警察ガ打タセル、上京シタ者ニハ一々刑事ガ付イテ居ル、非常ナ彈壓デアリマス、又此戒嚴令下ニ於テハ大會ガ開ケナイ、其爲ニ昨年十二月、是ハ戒嚴令前、十二月至九州ノ大會ヲ佐賀デヤリ、又今度ハ戒嚴令ニナッテカラ東京デヤレナイト云フノデ、第二回ノ全九州大會ヲ福岡デヤリ、又東北六縣大會ヲ仙臺デ實行スル、北陸四縣大會ヲ富山デヤル、又大阪デ全國大會ヲ五月三日ニヤル、其他靜岡縣或ハ埼玉縣、栃木縣、千葉縣各地方デヤル、又近ク東海大會ト云フモノモ行ハレル、斯様ナコトデ全國的ニ紛糾ヲ致シタ大問題ニナッテ居ルノデアリマス、左様ナ熱心ナル反對運動ガアリマスルガ、其際ニモ今マデナカッタヤウニ言論ノ、注意、中止、檢束、彈壓至ラザルモノハナイ、又ソレ等ノ邊陲ノ地域ニ於ケル大會ニ於キマシテモ、出席者ハ一縣五十名ニ限ル、サウ云フ風ナ彈壓デアリマス、併ナガラ内務省ノ指令ガ如何

ニアッテモ、地方ノ警察官ハ同情シテ居リマスカラ、相當ノ盛大ナ大會ニナル、五月一日ノ大阪大會ノ如キハ、中之島ノ公會堂ニ八千人以上ガ集結ニナッテ、全國カラ集テ非常ナ反對ノ悲鳴ヲ舉ゲタノデアリマス、斯様ナ一方ニハ國民ノ反對ノ情勢ガアリ、ソレニ對シテ彈壓スルト云フ風ナ空氣、而モ是ガ戒嚴令下デアリマス、言論ノ自由ハ失ハレテ居ル、此束縛ヲ受ケテ居ル者ハ斯様ニ申シテ居リマス、吾々ハ柱ニ手足ヲ縛リ付ケラレテ、サウシテ斃リ殺シニ二三年来サレテ居ッタ、所ガ今回此法案ガ出ルノデ、是ハ堪ラヌカラ、ドウゾ助ケテ呉レト云フノデ悲鳴ヲ上ゲルト、今度ハ戒嚴令下ダト言ヒ、或ハ其他ノ内務省ノ方針ニ依ッテ口ニ猿轡ヲ嵌メテ、物ヲ言フコトモ出来ナイヤウニシテ吾々ヲ殺シテシマフノダ、是ガ此反對運動ヲシテ居ル者ノ眞情デアリ、又私ノ見タ事實デアリマス、今日ノ衆議院ノ模様ヲ見マスルト、政友會ノ濱田國松氏ヲ初メトシテ、其他代表演説ヲサレタ方、又ハ豫算總會其他ニ於テモ、言論ノ壓迫、人權蹂躪ニ對シテ熱烈ナル、熱誠溢レタ反對ヲシテ居ラレル、此今度ノ議會ト云フモノハ、全ク私ハ立憲政治ノ擁護ト云フコトヲ目的トシ、又議會政治ノ振肅ト云フコト

ヲ目的トスル、ソレガ非常ナ大眼目デアラウト思フ、サウ云フ精神ニ充チ滿チテ居ル、齋藤隆夫君ノアノ歴史のノ大演説ヲ聽イテ、私ハ涙ヲ垂レタノデアリマス、之ニ依ッテ帝國議會ノ信用ト云フモノハ回復シタ、私モ政黨ニ入ッテ洵ニ嬉シイト云フ喜ビヲ感ジマシタガ、若シ此法案ノ審議ニ當ッテ、左様ナ彈壓ヲサレルト云フコトガアッテハ、吾々ハ再ビ茲ニ議會政治ニ對シテ信用ガ出来ナクナルノデアリマスカラ、斯ウ云フ點ヲトクリ能ク御考ヘニナリマシテ、何故此短期ノ特別議會ニ御出シニナツタカ、是ハ後デ又申シマスガ、決シテ急グ法案デハナイ、一言ニシテ結論ヲ申セバ、米穀政策トシテ、無用或ハ將來ニ禍根ヲ殘スモノデアル、サウシテ他ノ産業組合擴大運動ト云フ重大ナ目的ヲ達スルノニハ最モ有效ナ案デアリマスカラ、サウ云フ點デ斯様ナ紛糾シタ事情ガ起ルノデアリマスルカラ、サウ云フ點カラ考ヘテ見テモ、此短期ノ特別議會ニ出シテ、尙ホ是非トモ是ガ通過ヲ圖ラナケレバナラス事情ガオアリニナリマスレバ、ソレヲ御聽キ致シタイ

○島田國務大臣 短期議會即チ此議會ニ此法案ヲ提出シタト云フコトノ理由ハ、本會議ニ於テ多數ノ質問者ヨリノ質問ニ對シマシテ、私ハ政府トシテノ信ズル所ハ詳シク申上ゲタ、即チ統制法ノ補強策トシテ之ヲ成立セシムルコトガ最モ緊急デアリ必要デアル、斯ウ云フ所ニ歸著スルノデアリマス、而シテ此論者ト云フ言葉ヲ用ヒサシテ戴キタイ、論者ハ此議會ヲ短期デアルト云フコトヲ言ハレマスケレドモ、私ハ特別議會、臨時議會、斯ウ云フ通常議會以外ニ開カル、議會ノ審議期間トシテハ決シテ短イトハ思ハナイ、相當長イ期間ヲ持ッテ居ル、三週間ト云フノハ決シテ短イ期間デアリマセヌ、而シテソレハ本會議デモ申上ゲタ通りニ、前ノ議會デ審議サレテ居ルカラ簡略ニ行クデアラウト云フヤウナ意味ヲ持ッテ居ルノデハナイ、全ク此法案ヲ斯ノ如ク懸案ニシテ置クト云フコトガ宜シクナイ、國家ノ爲ニ宜クナイ、此法案ハ之ヲ成立セシメル、政府ノ希望トシテハ熱心ニ成立ヲ希望シテ居ル譯デアリマスガ、成立セシムルコトガ次ニ行ク段階ノ大キナ段階ヲ踏ムモノデアル、故ニ此場合ニ於テ之ヲ是非トモ解決ヲ願ヒタイ、斯ウ云フ眞ノ信條カラ提案ヲシタ次第デアリマシテ、此以外ニ特ニ申上ゲル理由ハナイノデアリマス、即チ此案ヲ成立セシメ、之ニ依ッテ附帶決議サレテ居ル所ノ事柄等ニ付テモ實際ノ働キヲ起

シテ行クコトガ非常ニ必要デアル、斯様ニ唯單純ニ考ヘテ居ル次第デアリマス、此點ハドウゾ渡邊君ニ於テモ御諒承ヲ願ヒタイト思フ、此議會ニ何故出シタカト云フコトハ、短イ議會ト云フ御話デゴザイマスガ、私ガ短イトハ思ハナイ、相當長イ期間ノモノデアル、通常議會ニ比ブレバソレハ短イトハ當然デアリマスケレドモ、併シ通常議會ニ於テハ御承知ノヤウニ本會議ト委員會ハ交互ニ開カレテ居ル、又其審議ノ時間等モ相當自由ニサレテ居ル、外ノ法案モ非常ニ審議サレマスカラ、長イヤウデアルケレドモ、時間ノ數カラ云ッテ決シテ通常議會ト此特別議會トノ間ニ審議ノ時間ニ長短ハナイ、斯様ニ自分ハ考ヘテ居リマスノデ、短期ト云フコトニ付テハ見解モアリ、或ハ色々御議論ハアリマセウガ、左様ナ次第デアリマスカラ、此點ニ付テハ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

〔發言スル者アリ〕

○東委員長 誰デス、靜肅……

○渡邊委員 此議會ノ紛糾等ハ勿論農林大臣モ十二分ニ御承知デアッタウト思フ、私ハ農林事務當局ガ寧ロ農林大臣ニ此法案ノ提出ヲ迫ラレ、或ハ過去ノ體面トカ行掛リデ、サウ云フコトヲサレタノデナイカトモ恐レ

テ居リマス、農林大臣モドコマデ御確信ヲ持ッテ御出シニナツタカ、サウ云フコトヲ申シテハ失禮ニナルカ知レマセヌガ、私ハ疑ッテ居リマスカラシテ、言葉尻ハ決シテ捉ヘマセヌガ、御眞意ガ現ハレテ居ル、先般本會議議三好君ガ質問サレマシタニ對スル農林大臣ノ御答辯デハ、米穀管理法案ヲ通過サシテカラ、更ニ根本策ヲ考究シタイト思フト、斯フ云フ話デアリマスカラ、更ニ根本策ヲ考究スル必要ガアルト云フコトハ御考ヘニナツテ居ルト思フ、サウスルト何カ此米穀自治管理法案ヲ出シテ、目前ニ片ヲ付ケナケレバナラス、半年ノ間ニ片ヲ付ケナケレバナラス事情ガアル、是程マデノ彈壓ヲシテ片ヲ付ケナケレバナラスト云フ事情ガアルト云フコトデモ想像シナケレバ、此今ノ二・二六事件ノ後始末ト云フモノガ中心ニナツテ居ル此議會ニ御出シニナル理由ガ呑込メマセヌカラ、モウ少シ具體的ニ次ノ議會ガアルニ拘ラズ、是非之ヲ成立セシメタイト度々明言シテオ居デニナルノデアリマスカラ、サウ云フ御考ノ下ニ之ヲ御出シニナルト云フ事由ヲ、具體的ニハッキリ、小サイ問題デアルカモ知レマセヌガ、ソレヲ承ッテ見タイ、本當ノコトガ分レバ審理ニモ好都合ダト思フノデアリマス

○島田國務大臣 私ハ此場合自分ガ議員トシテ此案ノ成立ニ携ッタ經過ト云ヒマスカ、之ヲ簡單ニ申上ゲテ、御諒解ヲ得タイト思フ、米ノ問題ニ付テ統制法ノ缺陷ヲ補充シ、之ヲ補強スルト云フコトニ付キマシテハ、吾々ハ餘程以前ニ自分ノ黨派デ此事柄ニ付テ主張致シマシタ、サウシテ米ニ關スル問題ノ特別委員會ヲ設ケマシテ、此特別委員會ニ於キマシテ、米ニ關シテ現行統制法ヲ廢止シテ、之ヲ全ク自由放任スルカ、或ハ更ニ進ンデ之ヲ專賣或ハ國家管理、斯ウ云フ風ナ所マデ持ッテ行クカト云フ根本ノ問題ハ容易ニ是ハ短日月ニ決スルコトハ出來ナイガ、差詰メ此豐作ニ際シテ、現行統制法ニ依ッテハ之ヲ運用スル上ニ於テ、國家ハ非常ナ苦痛ヲ感じナケレバナラス、ソコデ暫定ト云ヒマスカ、或ル年限間、根本對策ノ根本的ニ決定スル迄ノ方法トシテモ、茲ニ一ツノ經過ノ方法ヲ考ヘナケレバナラスト云フコトガ委員會トシテ問題ニナリマシテ、其結果自分ハ特別委員會ノ委員長トシマシテ、サウシテ政友會ノ政務調査會ノ報告トシテハ其意味ヲ前文ニ書イテ、サウシテ此案ガ暫定的デアアルガ、一時ノ應急策、永久ノ方策デハナイ、根本策デハナイガ、一時的ニモ或ル制度ヲ設ケナケレバイカヌト云

フコトニ立脚ヲシテ此骨子ヲ定メマシタ、ソレガ偶、他ノ黨派ニ於キマシテモ、殊ニ民政黨ニ於カレマシテモ、此問題ヲ非常ニ研究セラレ、之ニ重キヲ置カレ、ソコデ政民連繫ノ問題ガ起リ、共同政務調査ヲヤルト云フヤウナ問題ガ起リマシタ際ニ、思想教育ノ問題ト農村關係ノ米ノ問題ダケハ是非政民力ヲ協セテ解決シヨウデハナイカト云フヤウナ話ガアリ、偶、政府ニ於テモ此米穀ノ問題ニ對スル對策委員會ト云フモノヲ拵ヘテ、各派カラ委員ガ出、外ノ方面カラモ出マシタケレドモ、其處デモ盛ニ考究シ、特別委員ガ出來、小委員會ニナリマシテ、其綱領ヲ定メテ、其定メラレタモノヲ政府ガ骨子トシテ立案シタモノガ彙ニ此原案トシテ政府ガ出シタ所ノモノデアリマス、故ニ其當時カラ自分共ハ其立場カラ致シマシテ、一日モ早ク此案ヲ提案スベシト云フコトヲ申シタ、然ルニ政府ノ立案ノ都合ニ依リマシテハ、其當時此提案ガ殊ニ六十五議會ニ於テハ二月ノ半バニナツテ提案ヲシタト云フ次第遅レタ、其コトニ付テハ何故ニ之ヲ遅ラシメタカト云フコトヲ、當時自分共ハ非難ヲシタ一人デアリマス、然ルニ其關係カラ致シマシテ、六十七議會デ遂ニ衆議院ハ通過シマシタケレドモ、貴

族院デ成立致シマセヌ、而シテ此特別議會ハ只今渡邊君ハ二・二六事件ノ後始末ヲスル議會ダト云フコトヲ仰シヤイマスガ、固ヨリ此議會ニ於テハ其事モ含ンデ居リマス、併ナガラ解散議會、即チ六十八議會ニハ、前内閣ハ此法案ヲヤハリ提出致シテ居ルノデアリマス、剪頭ニ提出致シテ居ル、而シテ其提出シタノハ、自分等ガ間接ニ政府ニ注意ヲシマシテ、時ノ農林大臣ニ注意ヲシマシテ、解決ヲ要スルモノハ早く出サナケレバイカヌ、前議會ノヤウナ轍ヲ踏ンデハイカヌト云フコトヲ間接ニ注意ヲ致シテ提案サレタモノデアッテ、而シテ其議會ハ解散サレタ、而シテ此議會ニナツテ居ルノデアリマスカラ、自分トシテハ事務當局ノ意見如何ニ拘ラズ、自分ガ此省ノ主任者ニナツタ以上ハ、此案、繭ノ案、肥料ノ案、此農村關係ノ三法案ハ之ヲ解決スルニアラザレバ、農村問題ガ先ニ進ムコトハ出來ヌト云フ此深キ確信ノ下ニ提案シタ次第デアリマス、此案ニ對スル反對意見、或ハ種々ナ事柄ニ付テハ、是ハ又自分ノ見ル所モアリマス、併ナガラ之ヲ誤解ニ基クトカ、或ハサウ云フヤウナ言葉ヲ以テ簡單ニ現ハスコトハ、之ヲ避ケタ方ガ今日ノ自分ノ地位トシテハ宜シイノデアリマスガ、政黨員ノ一

人トシテ之ヲ言フ場合ニハ、之ニ對シテ言フ事ハ多クアル、故ニ私ハ事務當局ノ勸メニ由ッテヤッタノデハナイ、自分ノ信念カラ、此問題ヲ數年間扱ッテ、米ノ問題ハ茲ニ片付ケナケレバナラス、斯ウ云フ強イ考カラ、之ヲ國家ノ爲ニ提案スルコトガ適當デアル、斯様ニ考ヘテ出シタ次第デアリマスカラ、何卒事務ノ方カラ云々ト云フヤウナコトニ付テ、若シ少シデモ渡邊君ニ誤解ガアリマスナラバ、ソレハ全然私ノ考ヘル所ト違フノデアリマス、自分ハ自分ノ所信ヨリ出發シテ、前内閣、弱體微力ト謂ハレタ岡田内閣サヘモ其議會ニ提案ヲシタ、其後ノ此内閣ニ於テ、此二十一日會期ノアル議會ニ於テ、提案ヲシナイト云フヤウナコトヲシテハナラヌト云フ考モ含マレテ提案ヲシタ次第デアリマス、此點ヲドウゾ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス(拍手)

○渡邊委員 只今ノ御答辯デ十分了承致シマシタ、勿論此案ガ審議サレマスル迄ノ内閣ノ委員會、或ハ政黨方面ノ行懸リ情勢等熟知致シテ居リマスノデ、今ノ御答辯ニ付テハ私ハ十二分ニ了承致シマシタ、唯案ノ内容ニ付テ非常ニ確信ヲ持ッテ居ルト申サレマシタ、ソレモサウデアラウトモ思ヒマシガ、ソレヨリハ今迄ノ政治的ノ經過ニ付

テ私ハ農林大臣ガ責任ヲ以テ政治家トシテ御出シニナッタト云フコトニ付テハ十二分ニ了承致シテ居リマス、ソコデ又此法案ヲ御出シニナルニ付テノ根據ガアルカ無イカト云フコトヲ他ノ方面カラ段々御尋致シタイト思フ、是ハ過剩米ヲ統制シヨウト云フ案デアリマスルガ、過剩米ヲ統制スルト云フノナラバ、通俗ナ考デハ、何處カニ過剩米ガナケレバナラスト思フノデアリマスガ、何處ニモ無イト思フノデアリマス、アレバ私ガ貰ッテ行ッテ貧民ニ給與シタイト思フノデアリマス、過剩米ナドハ何處ニモ無イト思ヒマス、ソコデ此過剩米ト政府ノ言ハレル意味ハ、詰リ餘リ米ガ餘計出來過ギルト値段ガ下ルカニ、其値段ヲ下ゲナイヤウニスル爲ニハ斯ウ云フ生産高デハ一寸困ル、ソコデソレニ對シテ算盤ヲ彈イテ斯ウ云フ供給、ソレモ机上ノ數字ノ計算、其誤リニ付テハ他ノ方カラ十二分ニ指摘サレルト思ヒマスガ、ソレカラ將來ノ消費ト云フコトヲ考ヘ、供給需要關係ヲ農林省ノ役人方ガ、或ハ委員會ヲ作ラレタカモ知レマセヌガ、机上デ彈キ出シタ、サウシテ過剩米ト云フコトヲ机上デ出シテ、サウシテ一定ノ農林當局ノ理想トサレル相場ヲ維持シヨウ、サウ云フ目的ノ爲ニ此過剩米ナル

名稱ヲ御作りニナッタノダト思ヒマス、マアソレモ結構デアリマセウ、併シ若シサウ云フ意味ノ過剩米ト致シマシテモ、ソナモノ、出來ル原因ハ何處ニアルカト申シマスルト、私ハ米穀統制法ニアルト思フ、デスカラ過剩米ガ出來テ困ルト云フノナラバ此米穀統制法ヲ廢メタラドウカ、丁度譬ヘテ申シマスレバ、水道ノ栓ヲ開ケテ水ガ出ル、溢レル、困ルト云ッデ「バケツ」デ掻出ス、サウシテ大騒ギヲシテ浪費ヲスルト云フヨリハ、寧ロサウ云フコトヲ廢メテ、米穀統制法ヲ廢メテ、米穀法ノ昔——其他ノ方法モアリマセウ、此米價調節ノ爲ニ單純ナ方法ハ元ノ米穀法デアル、サウ云フ風ニ考ヘラレマスガ、其可否ハ今申シマセヌ、自分ハ一定ノ所信ヲ持ッテ居リマスケレドモ、併シ此過剩米ト云フコトガ困ルナラバ、米穀統制法ヲ廢メルト云フコトニ付テハドウ云フ御考デアルカ、可否ニ付テドウ云フ御考デアルカト云フコトヲ伺ヒタイ、ソレト今日實際ノ問題デアリマスガ、果シテ此冬、今年此法案ガ假ニ通ッテモ——私カラ申セバ不幸ニシテ通過致シマシテモ、過剩米ガアルカドウカ、之ヲ見マスルト、農林省カラ發表サレタ數、三月一日ガ内地米現在高四千三百六十萬石、他デ計算シタ數

デアリマスガ、ソレカラ十月末迄八ヶ月間ノ朝鮮カラ入ル米ガ五百萬石、臺灣カラ入ッテ來ル米ヲ三百五十萬石トスレバ、總計五千二百萬石デアリマスガ、消費見込四千三百萬石、輸移出見込三十萬石、合計四千三百三十萬石デアリマスカラ、結局差引持越見込ハ八百八十萬石デアリマス、所ガ政府ノ持米ハ六百十數萬石デアリマスカラ、結局二百六十五萬石位シカ端境期ノ民間米ハ殘ラヌ、ダカラ此分デ行ケバ政府ガ整理處分ヲシナイ限りハ端境期ニハ品ガスレニナル、過剩米ドコロデハナイ、斯ウ云フ風ナ觀察ガ何處デ行ハレテ居ルト思フノデアリマス、是ハ一例デアリマスガ、ダカラ六百萬石ノ米ガ持溜メニナッテモ困ルカラ、賣リタイナラ賣リタイデ米穀統制法ノ最高價格ヲ維持スルトカ、何トカ他ニ始末ノ仕様モアリハシナイカト思フ、態、此米穀統制法ト云フヤウナ、此條文ヲ御讀ミニナッタ方ハ御感ジデアリマセウガ、斯様ニゴチャムシタ所ノ、朝鮮米臺灣米、外地米——之ニ付テハ後程申上ゲタイト思ヒマスガ、兎ニ角全國ノ町村ヲ騷ガセルヤウナ斯ウ云フ法案ヲ作ル必要ハナキカニ考ヘマスルガ、ソレ等ニ對スル御答ヲ願ヒマス

○島田國務大臣 統制法ヲ廢止スル意思ナ

キヤト云フコトニ付キマシテハ、是ハ簡單ニ申セバ、只今廢止スルノ意思ナシ、無論之ニ代ハルベキ他ノ根本對策ノ立法ガアル場合ニ於テハ當然廢止セラルベキモノト思ヒマス、併ナガラ現狀ニ於テ渡邊君自身ノ専門ノ御研究御承知ノヤウニ、統制法ニ至ル迄ノ法律ガ出來テ、サウシテ段々ソレガ改テ來タ經過ヲ御覽下サレバ此現行ノ統制法ハ缺陷アリト雖モ、直チニ之ヲ一廢シ去リ、サウシテ米ヲ自由放任ノ形ニ置クト云フコトノ危險デアルト云フコトハ、是ハ論ノ無イコトデアラウト思ヒマス、故ニ此コトニ付テハ是ハ對案ノ出來マシタ場合ノ外ハ統制法ヲ直チニ廢止スルト云フヤウナコトハ出來ナイ、又意思ハナイ、斯ウ云フコトヲ申上ゲテ置キマス、故ニ統制法ガ現行法トシテ在ル以上、之ニ對シテ、是カラ起ル所ノ諸種ノ不便、弊害ヲ除去シテ、サウシテ法ヲシテ效果アラシメルト云フコトノ爲ニ本法案ヲ提出シタ次第デアリマス、尙ホ此統制セラルベキ過剩米ノ問題ニ付テ、先程ノ發言中ニモ、過剩米ハ何處ニモ無イデヤナイカ、斯ウ云フ御話ガアリマシタガ、是ハ渡邊君ノ御見解ヲ詳細ニ聽キマセメクレドモ、左様ナ意味ニ御話ニナレ

バ、ソレハ觀方トシテ其議論モ立チ得ルカモ知レマセメガ、政府ノ是マデヤッテ居ルコト、又考ヘテ居ルコトカラ申シマスト云フト、是ハ需給ノ關係カラシテ過剩米ガアル、凶作ノ連年續イタ場合ニハ、ソレハ品ガスレト云フコトガアリマセウ、併シ品ガスレニ對スル對策ハ別トシマシテ、先ヅ今日マデノ實情ノ經過ヲ大體見マスト云フト、過剩米穀ガアル、本年ノ米作ノコトハ豫想出來マセメガ、殊ニ本年ノ米作ガ相當ノ成績ヲ舉ゲル場合ニ於テハ、ヤハリ過剩米ガアル、政府ノ立案ノ趣意ハ、決シテ政府ノ只今有シテ居ル六百何萬石ノ處置ニ窮シテ居ルカラ、ソレヲドウスルトカ云フヤウナ意味ハ毛頭含マレテ居リマセヌ、是ハ必要ニ應ジテ、此法ノ運用ノ上カラ、自然ニ在ル物ガ整理セラレ、ソレガ段々賣捌カレテ行クト云フコトハアリ得ルコトデアリ、又サウ云フ途ガ開カレテ行クト云フコトハシナケレバナラヌコトデアリマスケレドモ、此事ダケニ付テノ處置ノ爲ニ斯様ナ法案ヲ出シテ居ルト云フノデハナイノデアリマス、尙ホ此數字ノコトニ關係シマシテハ、後刻政府委員ヨリ御答ヲスルグラウト思ヒマス

○東委員長 一寸皆サンニ御諮リシマス

ガ、午前ノ此會議ハ是デ休憩シマシテ、サウシテ午後ハ、一時カラ本會議ニ産褥處理、肥料其他重要ナ案ガアッテ、農林大臣ハ本會議デヤハリ説明ヲシナケレバナラヌコトデアラウト思ヒマス、ソレデ大體事務當局ノ方ニモ御質問ガ澤山アラウト思ヒマスカラ、ヤハリ正一時カラ開會スルコトニシテ、事務的ニ互ル質問ハ政府委員カラ説明シテ貰ヒ、サウシテ大臣ハ本會議ノ説明ガ濟ミ次第出席サレルコトニナッテ居リマスカラ、サウ云フコトニ致シタイト考ヘテ居リマス——只今午後一時ト申シマシタガ、一時半ニ致シマス

○渡邊委員 私大分長ク質問シテ甚ダ熟縮

デアリマスルガ、併シ丁度、稍、問題ノ急所ニ觸レテ來タコトデアリマスカラシテ、努メテ内容ヲ簡單ニシテ御尋ネシタイト思ヒマスカラ、農林大臣ノ御列席ニナラレルトキニ尙ホ質問ヲ繼續サセテ戴キタイト思ヒマス、此事ヲ御承認願ヒタイト思ヒマス

○東委員長 宜シウゴザイマス

○渡邊委員 事務的ノコトデ御質問ガアル

トスレバ、其後デ差支アリマセヌカラ、是デ打切ルト云フコトデナシニ、マダ要領ヲ盡シテ居ル譯デハアリマセヌカラ、一ツ繼續サセテ戴キタイト思ヒマス

○東委員長 ソレデハ適當ニ計ヒマス、ソレデハ是デ休憩致シマシテ、午後ハ一時半ヨリ開會致シマス

午後零時二十分休憩

午後一時四十分開議

○東委員長 ソレデハ是ヨリ開會致シマス

——角源泉君

○角委員 本案ニ關スル實質的事項ニ付テノ質問ハ、心血ヲ濺イデ多年研究シテ居レル渡邊君ニ譲リマシテ、私ハ本案ノ組立ニ付テ政府委員ニ御尋申上ゲタイ、是ハ中ノ條文ニ入ルヤウデアリマスケレドモ、場合ニ依ッテハ案全體ノ運命ヲ左右スルノデハナイカト思ハレル事ガアリマスルノデ、大體論トシテ御尋申上ゲルノデアリマス、本案ハ米穀統制組合ノ設立ヲ、國ノ力ヲ以テ強制スルト云フ主義ヲ採ッテ居ラレルヤウニ見エマス、勿論資格有ルモノガ組合設立ノ認可ヲ申出デタルトキニハ之ヲ認可スルト云フノガ原則デアリマスケレドモ、若シ組合員タル資格有ル者ガ組合ヲ設立スルト云フコトヲ申出ナイ場合ニ於テハ、政府ノ力ヲ以テ其設立ヲ命ズルコトヲ得ルト云フ立前ニナッテ居リマスルガ、斯様ニ人ノ自由ヲ制限スルト云フコトハ、殊

ニ組合ヲ設立スルト云フヤウナ場合ニ於テ、他ニ立法例ガアリマスカト云フコトヲ一ツ伺ヒタイ、情テ之ヲ強制スルトシテ、其強制スル實行方法ハドウスルカ、何レ施行令若クハ施行細則ニ依ッテ規定セラル、ノデアリマセウガ、如何ナル方法ヲ以テ——各人ニ對シテ之ヲ命令ヲ出シテ、強制シテ實行スルニハドウスルカト云フコトヲ問ヒタイ、次ニハ強制シテ組合ヲ設立セシムルコトノ出來ナイ場合、言ヒ換レバ此組合ヲ設立セヨト命ジテモ之ニ應ゼザルトキニ於ケル制裁如何、ソレカラモウ一ツハ米穀統制組合ニ付テハ強制規定ガアリマスルケレドモ、米穀商統制組合ト云フモノガ此中ニアリマスガ、ソレニ關シテハ強制ノ規定ガナイ、一ハ之ヲ強制シテ設立セシメ、

一ハ之ヲ強制セザル理由如何、是ガ第一ノ點デアリマス、次ニハ此組合員ニ法人ヲ認メルカドウカト云フコト、勿論法人ハ組合員タルコトヲ得ズト云フ明文ガアレバ出來マセヌケレドモ、明文ノ無イ限りハ、尙ホ法人モ組合員タルコトヲ得ルモノト考ヘマスルガ、法人ガ組合員トナツタキニハ、此組合ノ債務關係等ニ於テ複雑ナル交渉ヲ來ス、ソレ故ニ産業組合ニ於テハ、法人ガ組合員タル場合ニ於テハ、斯々ト云フ隨分面

倒ナ規定ガ産業組合法ノ方ニハアル、之ニ法人組合員ヲ制限シナイ理由如何、第三ニハ此法案ノ中ニ組合ノ解散ト云フコトヲ認メテ居リマスガ、既ニ強制ヲ原則トシテ居ル場合ニ於テ、解散ヲ認メルノハドウ云フ譯デアルカ、又如何ナル事由ニ依ッテ解散スルト云フコトヲ想像シテ居ラレルノデアルカ、是ガ第三點、次ニ終リニ此本法ニ規定ナキ事項ハ何法ヲ原則トシテ適用セラルルノデアアルカ、産業組合法ナドハ、本法ニ規定ナキ事項ハ商法ニ於ケル商人ニ關スル規定ヲ準用スト云フ原則ヲ決メテアリマスガ、之ニ規定ナキ事項デ、處置ヲシナケレバナラヌ問題ガ起ツタ時ニハ、何法ヲ根據トシテ行ハウトスルノデアアルカ、此四點ヲ御伺致シマス

○荷見政府委員 御尋ノ事ニ對シテ御答ヲ申上ゲマス、米穀統制組合ガ強制設立ニナツテ居ルコトハ其通りデアリマシテ、其例ガアルカト云フコトデアリマスガ、是ハ水利組合ニ其例ガゴザイマス、ソレカラ其強制設立ヲ致シマス際ニ、背カナイトキニハドウ云フ風ニシテ設立セシムルノデアアルカト申シマス、是ハ第九條ノ末項ニゴザイマス、設立ヲ命ゼラレタル者ガ命令ノ定ムル期間内ニ設立ノ認可ヲ申請シナイトキニ

ハ、行政官廳ハ定款ノ作成其他設立ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得ルコトニナツテ居リマス、其規定ニ據ル譯ニナリマス、ソレカラ法人ハヤハリ資格ガアリマスレバ此組合ニ加入致スコトニナツテ居リマス、ソレカラ米穀商ノ組合ニ付キマシテハ、是ハ今ノ強制設立ノ點ハ準用條文ニゴザイマシテ、第五十三條ニ第八條乃至第二十七條ノ規定ガ準用シテゴザイマスカラ、同ジデゴザイマス、ソレカラ解散ヲ認メル理由ハ何カト云フ御尋デゴザイマシタガ、是ハ勿論販賣米ノアリマスル地方ニ米穀統制組合ガ設立サレマシテ、ソレヲ賣出シテ行クノデゴザイマスルガ、色々ナ事情デサウ云フ販賣米等ノ無クナリマシタ場合ニハ、解散ヲ

命ジマスコトガ當然デアルト考ヘテ居リマス、ソレカラ此法律ニ特別ニ規定ナキ場合ハドウ云フ法規ニ依ルノデアアルカト云フ御尋デゴザイマシタガ、是ハ此關係事項ニ依リマシテ適用サレル法律ハ色々アルト思ヒマスガ、是ハ御趣旨ガハッキリ致シ兼ねテ……

○角委員 強制ニ關シテ、水利組合ニ強制規定ノアルコトハ私モ承知致シテ居リマスルガ、水利組合ノ如キモノ性質ヲ異ニスルノデアアッテ、産業的——斯様ナ組織ニ向ッ

テ、オ前ハ是非組合ヲ組織セネバナラヌゾト云フコトヲ強制スルヤウナ規定ハ、他ニ私ハナイと思フノデアリマスカラ、今御問致シタノデアリマス、追ッテハ意見ニナリマスカラ、之ニ止メテ置キマス

次ニハ制裁規定、制裁ニ付テハ第九條ノ終ヒニアルト云ヒマスガ、是ハ詰リ組合ヲ設ケルコトノ定款ヲ政府ガ定メテヤル、斯ウ云フコトニナツテ居リマスガ、是デ組合員ト云フモノガ當然出來ルノデアリマス、茲ニ一ツノ事由ガナケレバナラヌ、政府ガ定款ヲ決メテ斯ウスルゾト云ツタ所ガ、俺ハイヤダト斯ウナツタ時ノ制裁ハドウナルカ、斯ウ云フ私ノ問デアリマス、之ヲ一ツ御答ヲ願ヒマス

○荷見政府委員 御尋ノ第九條ノ規定デゴザイマスガ、只今申上ゲマシタ以上ニハ設置ヲ強制致シマスル規定ハゴザイマセヌ○角委員 ソレデ判リマシタ、其次ニ本法ニ規定ナキコトデゴザイマスルガ、本法ニ豫想セヌモノガ斯ウ云フ事案ニ付キマシテハ必ズアルノデアリマス、是ハ民法ニ依ルトカ、商法ニ依ルトカ、其他行政法ニ依ルトカ云フコトガ、根本ガ一ツ定ッテ居ラヌト云フト、法ノ適用上非常ニ困難ヲ惹起スノデハナイカト思ヒマスノデ、今即座ニ

民法ヲ原則ニスルトカ、商法ヲ原則ニスル
トカ、是モ御研究ガ積ンデ居ラレナイナラ
バ御答ヲ求メマセヌガ、此委員會繼續中ニ
其邊ノ御考究アッデ御答ヲ願ヒタイと思ヒ
マス

○荷見政府委員 只今ノ法ニ規定ノナイ事

項ハドノ法律ニ依ルノデアルカト申シマス
ルヤウナコトハ、是ハ其適用々々ノアリマ
スル法規ニ從ッテ運用サレテ參ルノデゴザ
イマシテ、別ニ規定ヲシタ先例モ外ニゴザ
イマセヌヤウデスシ、先程御答申上ゲタ程
度ノコトデ御諒承願ヒタイと思ヒマス

○角委員 モウ一言、今ノ御答デハ少シ――

――産業組合法ニハ「産業組合ニハ本法ニ別
段ノ規定アルモノヲ除クノ外商法及商法施
行法中商人ニ關スル規定ヲ準用ス」ト云フ
ヤウニ常ニ斯ウ云フ法律ニハ豫メ此規定ヲ
豫想セザル事柄ニ付テ適用スベキ原則ヲ決
メテアルノガ通例ダト思ヒマス、是ハ私法
ヲ原則トスルノカ、公法ヲ原則トシテ居ル
ノカ、其邊ノコトハ尙ホ研究ノ餘地ガアラ
ウト思ヒマスガ、私ノ質問ハ他日ニ留保致
シマシテ、此邊デ止メテ置キマス

○荷見政府委員 只今ノ御話デ私モ分リマ
シタガ、産業組合法ニ於キマシテハ、産業
組合ヲ商人トシテ取扱ヒマス必要上只今御

示シノ條文ノ準用ガゴザイマス、此統制組
合ハ公法人トシテ取扱ヒマス積リデゴザイ
マスカラ、是ハ一般公法ノ原則ガ主ニ働ク
ノデアリマス

○角委員 宜シウゴザイマス

○東委員長 一寸御諮リ致シマスガ、成ベ
ク大臣ノ出席ノ出來ルマデ、事務當局者ニ
對シテ事務的ノ質問ガアルナラバ、ソレヲ
質問願ヘレバ大變進行上便宜ト思ヒマシ
テ、サウ云フ取計ヒヲ致シタノデアリマス
ガ、此場合ニ事務的ニ對シテノ質問ガアル
ナラバ、通告順ノ順序ニ拘ラズ御許シシテ
宜カラウト思ヒマス

○角委員 モウ少シ――今ノ法人ノ事デア

リマスガ、法人ヲ組合員ニスルト云フコト
ニナルト、此組合ノ債務ニ關シテ産業組合
法デハ法人ノ問題トシテ、役員ガ連帶無限
ノ責任ヲ負フト云フコトヲ規定シテアル、
法人ヲ入レル以上ハ、ソコマデ規定シナケレ
バナラヌ、法人ニハ限ラレタ財産シカナイ
ノデアリマスカラ、ソコデ原則トシテ法人
ヲ組合員タラシムルコトヲ得ルトスレバ、
産業組合法ニ於ケルガ如キ後ノ責任ニ付テ
規定セラルベキモノデハナイカト私ハ思フ
ノデアリマスガ、イマ一應御説明ヲ煩シタ
イト思ヒマス

○荷見政府委員 此法人ハ出資制度ノモノ
デゴザイマセヌデ、會費制度ニ依ッテ實行
スルノデアリマス、ソレデ商業組合、工業
組合等ニ付テモ法人ガ會員タル場合ニモ別
段ノ規定ハゴザイマセヌノデスガ、此組合
ニ於キマシテハ、左様ナ産業組合ノ如キ場
合ヲ豫想致シテ居リマセヌノデ、法人ガ組
合員タルベキ場合ノ規定ハ別ニゴザイマセ
ヌガ、之ニ依ッテモ差支ヘナク運用シ得ル
モノト考ヘテ居リマス

○野中委員 政府ニ材料ノ提供ヲ此場合要

求致シタイト思ヒマス、大體ノ材料ノ要求
ハ民政黨ノ方カラ御請求ニナリマシタガ、
アノ材料ヲ成ベク至急ニ提出シテ貰ヒタイ
ト思ヒマス、去年ノ政府ノ意見ト、今度ノ
政府ノ意見トハ、或ハ意見ガ違フカモ知レ
マセヌ、ソレデアリマスカラ質問モ亦ソレ
ニ依ッテ多少變ッテ行クデアラウト思ヒマス
カラ、成ベク早く材料ノ提出ガナケレバ、
事務當局ニ對シテモ御質問ヲスルコトガ出
來ナイノデアリマス、ソレデスカラ今日要
求シマシタ民政黨側ノ材料ヲ至急此處ニ御
取揃ヘ下サルヤウ御願致シマス

次イデ私ハアレニ追加シテ申上ゲマス
ガ、産業組合、殊ニ購買組合、販賣組合ノ
今日ノ實績、今マデノ實際ノ狀態ヲ表ニ

現ハシテアリマスナラバソレヲ出シテ戴キ
タイト思ヒマス、議論ハ又後デシマスカラ
今日ハ申上ゲマセヌ、ソレカラ全國購買組
合聯合會、販賣組合聯合會、是ノ成績及ビ
利益、是ハ直接米穀ノ管理案ニハ關係ナイ
ノデアリマスガ、之ヲ取扱フノニハ勢ヒ斯
ウ云フ組織ヲ造ラナケレバナリマセヌ、現
ニ米穀自治管理法ニ依ッテ米穀統制組合ヲ
造ルト云フコトガ明記シテアリマスカラ、
ヤハリ是モ同ジヤウナ意味合ニ於テ産業組
合ト性質ヲ同ジウスルモノダト考ヘマス、
ソレダカラ斯ウ云フ共同計畫ガ果シテ成績
ガ好イカ惡イカ、今マデノ之ニ類似シタモ
ノノ成績ヲ持ッテ來ルナラバ直チニ分ルデ
アラウト私共ハ考ヘル、ソレデスカラ全國
販賣組合聯合會及ビ購買組合聯合會ノ成績
竝ニ――殊ニ本年ノ狀態、是ノ材料ノ提出ヲ
要求致シマス、ソレカラモウ一ツハ全國各
市町村ニ於ケル組合ノ數字、或ハ實行組合
デアルトカ、産業組合デアルトカ、農會デア
ルトカ云フ、斯ウ云フヤウナ組合ガ各市町
村ニハ非常ニ澤山アリマス、ソレデスカラ
其組合ガ一體幾ツ市町村ニハアルカ、勿論
性質ハ異ッテハ居リマスケレドモ、併ナガラ
數字ハ大體ニ於テノ各市町村ニ於テ同ジダ
ト思ッテ居ル、ダカラ其數字竝ニソレニ要ス

ル先づ平均ノ經費、各市町村ノ組合ニ依リマシテ其經費ノ内容ハ違フデセウ、甲ノ市町村ノ甲組合ノ經費ハ一戸當リ例ヘバ十錢ノ負擔デモ、乙ノ市町村ニ於ケル甲ノ組合ノ經費ト云フモノハ或ハ十五錢ト云フ風ニ數字ハ違ヒマセウカラ、的確ナル各戸ノ數字ノ必要ハアリマセヌ、唯平均ニドレ位ノ

例ヘバ養蠶實行組合デハ一年ニドレ位ノ負擔ヲシテ居ルカ、或ハ農會デハドレ位各戸ニ課ケテ居ルカ、或ハ産業組合ニ於テハドレ位經費ヲ徵收シテ居ルカ、或ハ畜産組合ニ於テハドレ位取テ居ルカ、皆此數字ヲ集メナケレバナラスト思ヒマス、デスカラ此數字モ成ベク出來得ル限り、殊ニ此法律案ノ審査ニ當リマシテハ影響ヲ及ボス材料デアリマスカラ至急ニ御提出ヲ願ヒタイト思ヒマス、ドウカ委員長ニ於キマシテハ左様ニ御取計ヒヲ願ヒタイト思ヒマス

○東委員長 承知致シマシタ

○三宅委員 私モ材料ノ御提出及ビ事務的質問ニ付テ、時間ノ進行上政府委員ニ簡單ナ項目ダケ御伺ヒシテ置キタイノデアリマス、古イ議員ノ方ハ御承知カモ知レマセヌガ、生産費計算ノ基礎ト、生産費計算ヲ基礎ニシテヤリ出シマシタ以後ノ各年別ノ表ヲ一ツ御提出願ヒタイ、ソレカラ内外地ノ

生産費、内地及ビ植民地ノ米ノ生産費ノ調べ及ビ其差ノ出テ居ル事情ニ付テノ註釋ヲ附ケテ御調ベヲ御出シヲ願ヒタイ、ソレカラ是ハ渡邊君カラモ御話ガアッタウデスガ、政府拂下ゲ米ノ表ヲ一ツ示シテ貰ヒタイ、是ハ意識シテ居ラレナイカモ知レヌケレドモ、飯米飢饉ニ於キマスル都市及ビ農村ニ對シマシテ社會政策的ナ意義ト云フコトハ非常ニ統制法トシテモアッタ方ガ宜イト私共ハ見テ居ルノデアリマシテ、此飯米飢饉ニ對スル社會政策的ナ意義其他ヲ一ツ檢討致シマスル意味ニ於、交付米ヲ幾ラ出シタカ、無償ノ交付米ヲ幾ラ出シタカ、貸下ゲ米ヲ幾ラ出シタカ、拂下ゲ米ヲ幾ラ出シタカ、之ヲ年度別及ビ品目別ニ付テ表ヲ御提出ヲ願ヒタイ、ソレカラ組合員ノ資格ノ標準ハドウ云フ所ニアルカ、是ハ一ツ御答辯ヲ願ヒタイ、現實ノ問題ト致シマシテ、小農ハ賣ル米ハアリハシナイニモ拘ラズ、賣ル米ノナイ者マデモ出來秋ニ賣ッテ、又後ニ買込ムト云フコトニナリマスカラ其間ノ小農ニ對スル利害ノ關係ガ非常ニアリマスシ、ソレカラ組合費ノ負擔ノ問題モアリマスカラ、組合員ノ資格ハドノ邊ニ置クカト云フコトヲ一ツ事務的ナ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

○荷見政府委員 只今ノ組合員ノ資格ノ標準ハ大體自作農ニ於テハ五反歩以上ノ水田耕作者、小作農ニ於テハ一町歩以上ノ水田耕作者ト云フコトヲ標準ニ取ッテ居リマス、尤モ地方ノ事情ニ因リマシテハ是等デ又困ルコトモアリマセウカラ、ソレハ先づ大體ノ標準ト云フコトニ御含ミ置キヲ願ヒタイト思ヒマス

○三宅委員 石當リ十二錢ノ補助ト云フコトハ、煙蒸費デ申シマスト一體石當リ幾ラトハ、煙蒸費アリマスカ

○三宅委員 ソレデ經費ノ負擔ハ一體ドレ位ニナッテ、一體ドレ位掛カルモノデアリマセウカ、實際ヤッタ場合ニ於テハドレ位掛ルカ、其邊ノ利害ガ小サナ者ニ對シテドウナルカ、ソレカラ御取リニナル標準ガ小作反別ノ大キサニ依ルトカ、或ハ管理委託米ノ量ニ依ルトカ、其邊ガヤハリ能力ニ應ジテ違フコトニナルダラウト思ヒマスガ、大體ニ於テ一戸幾ラ位デ、若クハ自作農五反歩、小作農一町歩ト云フ最底ノモノハ一體幾ラ位デアルカ、其邊ノ御見込ヲ一ツ拜聽シテ置キタイト思ヒマス

○荷見政府委員 大體ノ所デゴザイマスルガ、石當リ十錢程度ノモノガ煙蒸費ニナルノデハナカラウカト思ヒマス、其外ノ一、二錢ハ餘裕ガアリマセヌト通信ヲ致シマシタリ、色々ナコトガアリマスノデ十二錢程度ト考ヘテ居ルノデアリマス

○三宅委員 サウ致シマスト經費ノ負擔ノ點ニ付テハ、例ヘバ事務ヲ扱ヒマス所ノ人件費デアルトカ、文書費デアルトカ、通信費デアルトカト云フ程度ノ費用シカ負擔スルコトハナイト思ッテ宜シウゴザイマスカ

○三宅委員 サウスルト年ニ一人一圓程度ノモノト見テ宜シウゴザイマスカ——尤モ村ノ大キサヤ何カデ違ヒマセウケレドモ、餘リ多額ナ負擔ニナリマスレバ、澤山米ヲ

○荷見政府委員 此組合ガ米ヲ保管致シマスル關係ニ付キマシテハ、保管料ヲ補助致スコトニナッテ居リマスルノデ、其保管料ノ點ニ付テハ是ハ經費ヲ要セヌコト、思ヒマス、又資金ヲ供給致シマシタ場合ニハ其金利モ補助スルコトニナッテ居リマス、其他米

出サレル人ハ渡邊サンモ言フデ居ラレル通リデアリマセウケレドモ、小農ニ對シテハ面倒臭クテ却テ迷惑ダト云フヤウナ事例ガ可ナリ出テ來ルト思フ、幾ラ位掛カルコトニナリマセウカ

○荷見政府委員 ドレ位ニナリマスカ、實際非常ニ困難ナ問題デゴザイマスガ、是ガ組合員ガ相當多ウゴザイマスレバ、殆ド掛リハ掛ラナイダラウト思ヒマス、尤モ産業組合トカ或ハ農會トカ云フモノガ代行致シマス場合ニハ、其經費ハ殆ドナイト思ヒマス、獨立シテ統制組合ヲ作りマシタ場合ニドレ位掛リマスカ、規模等ニ依ッテ色々違フカト思ヒマス

○三宅委員 ソレデハハヤハリサウ云フ農會トカ、産業組合デアリマスレバ、費用ハ割合少イ勘定デスガ、ソレトモウ一ツハ町村ノ大キサニ依ッテ大變違フト思ヒマス、現在町村ノ合併ナドヲ勸メテ居ラレマスガ、中ニハ百八十軒ト云フ村モアリマシテ、此法規ニ依レバ町村單位ト云フコトニナッテ居リマスガ、サウ云フ小サイ特別ノ寒村ニ却テ負擔ガ多クナルト云フコトデハ困ルト思フノデアリマスカラ、其點ニ於テ特別ニ弱小町村ニ付テハ特殊ナ補助ナドヲシテ、多少彈力ヲ付ケテ増減スルト云フヤウ

ナ御用意ガゴザイマスカ、ソコマデハ御考ニナッテ居リマセヌカ

○荷見政府委員 ソレハ只今申上ゲマシタ私共ノ方デハ煙蒸手入費等ノ補助金ノ一割位ハ融通スレバ出シ得ルカト思フノデゴザイマスガ、サウ云フ大キナ融通ト云フコトハ限リノナイコトデアリマスカラ困難カト思ヒマス、唯小サイ町村デゴザイマスレバ、販賣換ヘモ殆ドナイノデアリマスカラ、或ハ事務費ノ如キモノハサウ掛ラナイデ済ムヤウニナルノデハナイカト思ヒマスケレドモ、一寸ハッキリ申上ゲ兼ネマス

○三宅委員 イヤ、御尤モデアリマス、ソレカラ是ハ私ノ方ノ無智ヲ暴露スルコトニ相成ルカモ知レマセヌガ、「シヤム」米ハ今輸入禁止ニナッテ居リマスカ、輸入シテ居レバ現在ドレ位輸入シテ居リマスカ、ソレハ若シ何デシタラ文書デモ……

○荷見政府委員 「シヤム」米ハ昭和八年十月以來輸入禁止ニナッテ居リマス、但シ昨年ニ於キマシテハ國際關係等ヲ考慮致シマシテ、特殊用途ノ爲ニ碎米ノ輸入ノ許可ヲ致シテ居リマス、其數量ハ二十數萬石ニナルカト思ヒマス

○三宅委員 ソレカラ是モ玄人ノ方ニハ蛇足カモ知レマセヌガ、朝鮮米又ハ臺灣米ノ

格差運賃諸掛リト云フヤウナモノヲ、大體其道ノ玄人デナクトモ分ル程度ニ一ツ文書ニシテナリ、口頭デモ御教ヘヲ願ヒタイ、後カラ文書デ載イテモ宜シウゴザイマス

○荷見政府委員 是ハ年度ニ依ッテ相當差異ヲ生ズルコト、思ヒマスガ、只今デハ大體全國ノ大都市ノ平均ヲ致シマス、格差ガ五十錢見當ト考ヘマス、ソレカラ運賃ガ一圓五十錢内外ト云フヤウナ風ニ私ハ考ヘテ居リマス

○三宅委員 諸掛リト云フモノハ一體ドレ位ニ見タラ宜イモノデスカ

○荷見政府委員 運賃諸掛リヲ含メマシテ、一圓五十錢程度デアリマス

○三宅委員 サウデスカ、是ハ商工省ノ關係ニナルカモ知レマセヌガ、自治管理デナク、米穀統制法ノ實施ニ依リマシテ、取引所ノ盛衰ガ確ニアツタ譯デスガ、ソレノ取引所數ノ増減及ビ取扱額ノ増減ニ付テ一ツ資料ヲ載キタイ、ソレカラモウ一ツ、是モ大臣トノ大キナ議論ニナリマスケレドモ、資料トシテ載キタイノデスガ、米穀商ノ數ト、サウシテ消費戸數トノ割合ヲ一ツ御示シヲ願ヒタイ、例ヘバ現在ノ小賣商人ノ生活難ノ問題ト云フモノハ、單ニ産業組合ノ進出ナント云フ問題デナク、若クハ資本主義ノ

恐慌ノ影響モアリ、色々アリマスガ、其中ニ於キマシテ一ツノ大キナ問題ハ、没落致シマシタ地主ニ致シマシテモ、或ハ資本金家ニ致シマシテモ、直グ成レマスノハ小賣商人デ、小賣商人ノ數ガ米穀商ノミデナクテ、有ユル方面ニ於テ過剩デアルト云フコトハ、是ハモウ消費戸數トノ比較ニ於テ有リ過ギルト云フコトガ何トシテモ一番大キナ問題デアリマスノデ、此問題ニ付テハ些末ナル産業組合ト、サウシテ反産側ト喧嘩ヲシテ居ッデモ決シテ政治的ナ解決ハ付クモノデハアリマセヌノデ、其議論ノ仕様ト致シマシテ、米穀商ノ數ト、ソレヲ消費スル御得意様ノ戸數トノ割合ニ付テ一ツ資料ヲ御提出願ヒタイ、ソレカラ是ハ米穀要覽ニアルカトモ思ヒマスガ、期日ガ非常ニ短クテ、ソレヲ引張り出シテ居リマス時間ガ掛リマスノデ、内地、臺灣、朝鮮ノ米穀ノ豐凶表ヲ一ツ反當リドレダケ増額、ドレダケドウスウト云フソレモ特殊ナ事項ガアリマスレバ、其備考ヲ付ケマシタ豐凶表ヲ一ツ御提出願ヒタイ、ソレカラ是モ議論ノ時ハ大臣トノ問題ニナリマスガ、米價高ト肥料ノ高低トノ比較表ヲ一ツ御提出ヲ願ヒタイ、農産物ノ生産費ニ關スル問題デスガ、統計トシテハ官廳統計ガ一番宜シイカ

ラ、米價高ト肥料ノ高低トノ年別比較ラ一ツ御提出願ヒタイ、ソレカラ其次ノ資料ハ米穀統制法實施以前ト其後ニ於キマスル米價ノ最高最低ノ開キト云フモノハドノ程度ニ輕減セラレタカ、是ハヤハリ米穀統制法自體ニ對スル一ツノ大キナ批判ノ要點デゴザイマスカラ、是モ一ツ素人ニ能ク分ルヤウニ表ヲ御提出願ヒタイ、ソレカラ是モ後カラ又議論ニナリマスガ、米穀自治管理ニ於テ保管米ニ對シマスル低利資金ノ融通若クハ貸出金ハ七割ヲオヤリニナル積リカ、八割ヲオヤリニナル積リカ、全額ヲオヤリニナル積リカ、是ガヤハリ議論ノ大キナ中心ニナルノデアリマシテ、例ヘバ大キナ米屋ナドハ耐久力ガアリマスカラ、七掛ヲ貰ヒマシテ待ッテ居ッテ高ク賣ッタ方ガ得デアリマスケレドモ、實際ノ貧農ニナリマス、手取金ヲ必要トシマスノデ、非常ナ不利ヲ招イテ居ルノデアリマス、是ハ反產側ニ於テ御指摘ニナル通りデアアル、サウ云フ資料ガ必要ニナリマスノデ、私共ガ今回ノ米穀統制法ニ付テ賛否ノ意見ヲ決定致シマスル決定權ト云フモノハ、是ガ貧農ノ役ニ立タナイ、中農以下ノ役ニ立タナクテ、有力地主ノ役ニ立ツダケデハ何ニモナラナイノデアリマスカラ、一體幾ヲ御出シニナル積リ

デアアルカ、而モ實際問題トシテハ手續ガ非常ニ煩雜デアッテハ何ニモナラヌ、米穀統制法ニ對スル民衆ノ不滿ト云フモノハ、手續ガ煩雜ダ、直グ金ガ來ナイ、同ジ銘柄ヲ揃ヘナケレバナラヌト云フヤウナコト、色々後カラ申上ゲマスガ、一體幾ヲ御貸シニナル積リデアアルカ、私ノ意見トシテハ、是ハモウ少クトモ中農以下ニ對シテハ全額貸サナケレバ、機能ヲ發揮シナイト考ヘテ居リマスガ、幾ヲ御出シニナルカ、是ハ事務當局ノ御答辯ヲ一ツ願ヒタイ、其上ニ於テ大臣ト又……

〔北委員〕委員長、一寸關聯シテ……ト呼フ

○東委員長 北君

○北委員 只今米穀商ノ數ト得意先ノ需要家ノ數トノ割合ヲ御聞キニナリマシタガ、私ハソレト同時ニ都市ハ別トシマシテ、農民ヲ對照トスル所謂農村市街ニ於ケル農民ト商人ノ數ノ割合、之ヲ伺ヒタイト思ヒマス、最近隨分商人ガドン／＼殖エテ來テ困ル、非常ニ澤山殖エテ行ク、現在ニ於ケル商人ト農民ノ割合、是ハドンナ數ニナッテ居リマスカ、ソレヲ伺ヒタイ

○荷見政府委員 先程ノ保管米ニ對スル融通金額ノ割合ノコトニ付テ申上ゲマスガ、

大體本會議デ大臣ガ申上ゲマシタヤウニ、出來ル限り融通致スコトニ致シタイト考ヘテ居ルノデアリマスガ、只今ノ計畫デハ、一石ニ付テ十一圓程度ノ融通ヲ致シタイト云フコトニナッテ居リマス、是ハ米價ガ非常ニ供給數量ガ多クテ安イ時デゴザイマスカラ、相當ノモノデアラウト考ヘテ居リマス

○三宅委員 是モ素人デゴザイマスカラ、換算シテ御聽キ致シマス、一石十一圓程度デゴザイマス、白米ニ致シマシテ一石幾ラ位ノ程度ニナリマスカ、現在ノ最低價格ノ全額位ニ當リマスカ當リマセヌカ

○荷見政府委員 是ハ大體一石ノ半分ト云フコトニ御承知ヲ願ヘバ宜カラウト思ヒマスノデ、玄米一石ニ付テ二十二圓程度ト御承知願ヒタイト思ヒマス、只今ノ最低價格ハ今年ガ二十四圓八十錢ニナッテ居リマス

○三宅委員 此點ハ私議論ニナリマスカラ、後カラ大臣ニ申上ゲタイト思フノデアリマスガ、事務當局トシテモ御考ヘ願ヒタイ點ハ、兎モ角相當ノ犧牲ヲ拂ヒマシテ一石ノ米穀商側ニ犧牲ヲ承知シテ貰ヒマス限リニ於キマシテハ、米穀商モ言ッテ居ラレルノダガ、本當ノ農民ノ爲ノ法案デアルナラ

バ私共ハ苦痛ヲ忍ビマス、結局ハ大地主ダケ助カルト云フヤウナ案デアッテハ何ニモナラヌト云フノガ、米穀商自體ノ、私共ニ陳情ニ來ラレル方々ノ要旨デゴザイマシテ、本當ニヤハリ農村ガ立タナケレバナラヌ、貧農ガ立タナケレバナラヌト云フ見地ニ立テバ、米穀商ノ救済ニ付テハ別ニ救済ノ方法ヲ考慮スルトシテ、必要ナ法案ダケハ通サナケレバナラヌ情勢デゴザイマスノデ、私共ハ其點ガ決定點ニナルノデ、何モ必ズシモ大地主ニ對シテ此割合デ貸サナケレバナラヌト云フ意味デハナクテ、手取金ヲ最モ熱望シテ居リマス窮乏農家ニ對シマシテハ、少クトモ公定價格ノ最低價格ニ相當スルモノダケハ一定ノ階級以下ニ付テハ必ズ之ヲ貸下ゲルト云フ原則ヲ一ツ御立テ下サラナケレバ、私共ハ甚ダ満足デアルト思ヒマス、是ハ意見トシテ申上ゲテ置キマス、ソレカラ手續ヤ其他ノ點ニ付テハドンナ御考デスカ、兎ニ角米穀ノ關係法デハ同ジ銘柄ヲ百俵、證據金トシテ二圓ト云フ非常ニ煩瑣ナ手續ガアル、從ッテ青田賣リヲヤッタリ、白田賣リヲヤッタリ、黒田賣リヲヤッタリスル者ハ尙更ニ大變デゴザイマスガ、假ニ青田賣リヲヤラナイ出來秋ヲ待ツ農家トシテモ、連モ同ジ銘柄ヲ百俵揃ヘテ

賣ル暇ハナイ爲ニ、庭先相場デ最低公定相場ガ二十二圓ト云フ時ニハ大抵十七圓、十八圓デ融通ガ著クカラ仲買ニ賣ッテ居ルノデアリマス、デアリマスカラシテ、是ハ米穀統制法ノ問題ニ付テ大臣ニモ一ツ念ヲ押シタイノデアリマスガ、此手續ノ點ヲ非常ニ簡易ニシテヤッテ戴カナケレバナラス、

兎モ角是ハ大局カラ見ルナラバ、純農政策減ビントスル農村ニ對スル救済策トシテ國家ガ相當ノ犠牲ヲ拂ッテ居ル、併ナガラ消費

者ニ惡イ影響ヲ與ヘテハイケンイカラ、別ノ用意トシテ消費者ニ對シテモ考ヘテ居ルト私ハ解釋シテ居ル、其意味ニ於テ此案ヲ認識シテ居ルノデゴザイマスカラ、隨テ此手續ガ煩瑣ノ爲ニ實際必要ナル勤勞農民ニ利益ガ均霑シナイト云フコトデアルナラバ、

コンナ案ハ打ツ毀シテシマッタ方ガ宜イト云フコトニナルカラ、其手續其他ノ點ニ付テ御腹案及ビ斯ウ云フコトハ何モ施行令其他デモ改マルコトデアルカラ、多少手續ヲ拙速ニヤッテ爲ニ國家ガ損害スルト云ッテモ、米穀統制法デ何百萬圓損害シテ居ルコトカラ見レバ大シタコトハナイ、サウ云フ

點ニ付テハ手續ガ極メテ簡易ニ即刻貸、而モ最低價格ダケハ貸スト云フ根本方針ガ樹立シナケレバ、是ガヤハリ本案ニ對スル

賛成力反對ノ決定點デアルト考ヘルノデアリマス、其點ニ付テノ事務當局ノ御考ヲ一ツ伺ヒタイ

○荷見政府委員 勿論是マデモ出來ル限り簡單ニ手續ヲ運ビタイ積リデヤッテ居リマスガ、私共ノ考ト致シマシテモ、將來益、

成タケ簡單迅速ニヤッテ貰ハナケレバナラスト考ヘテ居リマス、併シ低利資金ノ運用ノ順序ト致シマシテ、預金部カラ金融機關ヲ經由スルノデアリマスカラ、初メノ分ハドウシテモ遅レ勝チニナルコトハ是マデアッタノデアリマスガ、今度ノ此法案等ニ付

キマシテハ、既ニ其用意ト致シマシテ預金部ノ運用委員會等ニモ承認ヲ求メテ居リマスカラ、極メテ早く實行出來ルコトニナッテ居リマス

○三宅委員 此點……

○東委員長 三宅君、委員長ノ許可ヲ得ナイデ發言シテハイケマセヌ

○三宅委員 此點ハ實ニ重要デアリマシテ、追テ大臣トモ御討論ヲ願ヒタイと思ヒマスガ、例ヘバ負債整理組合法等ノ豫定程

ニ行カナイ事情ト云フモノニハ金ヲ貸スノニ一年モ掛ル、若クハ一年以上モ掛ル、其書類ヲ書クノニ小サナ役場デハ書記ガ他ノ事務ヲ放擲シテモ尙ホヤレナイト云フコト

デアルカラ、一寸氣ノ利イタ者ガ居レバ、コンナモノハ駄目ダラウト云フヤウナコトデ蹴ッテシマフ積リデヤルカラ、尙ホイケナイ事情デアリマス、今ノ政府委員ノ御答辯ニ依レバ、最初ノ金ガ少シ遅レルカモ知レナイト云フコトデアルガ、最初ノ金コソ一番大事デアルカラ、其點ハ一ツ即刻貸セル

ダケノ用意ヲシテヤッテ戴キタイ、庶政刷新ト云フ立前デ居ラレルノダカラ、要スルニ

色々ナ法規ガ農民等ニ吞ミ込メナイ點ハ今日マデモサウデスガ、第一農民ハ書類等ヲ書クコトハ下手デスシ、嫌ヒデスシ、不得手デアル、ソレニ對シテ官僚的ナ統制ト云フモノハ、サウ云フコトヲ喧シク言ハレルカラ、非常ニ主觀的善意デヤラレルコトガ農民ニ取ッテハ桎梏ニナッテ居ル事情ガアリマスノデ、此點ハ一ツ出來ルダケ即刻金ガ渡

セルダケノ用意ヲ運用ノ上ニ於テヤッテ戴カナケレバ、是ダケ米屋ノ側デ反對シテ居ルノヲ、必要ナリトシテ通シタトシタナラバ、米屋ニ對シテモ申譯ノナイ話デアリマスカラ御考ヘ置キヲ願ヒタイ

○富吉委員 只今三宅君ノ質問ニ對シマシテ、私ハ自作農ハ五段歩以上、小作農ハ一町歩以上ト云フヤウナコトニ標準ガ決ッテ

居ルヤウデアリマス、ソレニ對シマシテ特

別ノ場合ハ、其地方ニ依ッテ此範圍ハ變ヘテ宜シイト云フ御意見ノヤウニ承ッタンデアリマスガ、左様デゴザイマスカ、是ハ府縣ニ依リマシテモ色々事情ガ違ヒマスノデ、五段歩以上及ビ一町歩以上、詰リ此組合員ノ資格ト云フノヲ各施行サレル内地ダケノモノデ宜イノデスガ、府縣別ニ其數ヲ御示

ヲ願ヒタイ、ソレト總テノ米作農民トノ比較、詰リ全米作農民ガ幾ラノアッテ、其中

現在決メラレテアル此五反歩以上、一町歩以上ト云フ自作農、小作農ノ數ノ比較デス、ソレヲ御聽キシタイ、ソレハ御調ニナッテ居ル筈ダと思フ、ドノ位ノ組合員ガ出來ル

カ

○荷見政府委員 只今ノ御話ハ能ク調べマシテ御返事申上ゲマス

○富吉委員 サウスルトマダ此法案ヲ御出シニナルノニドレ位ノ人數ガ救ハレルト云フ大體ノ見透シハナイノデスカ

○荷見政府委員 是ハ貯藏致シマシタ人ダケト云フヤウナ考デアアリマセヌノデ、大體全般的ニ各方面ニ對シテ米價ノ不當ナル下落ヲ防止シヨウト云フ所ノ考デゴザイマスノデ、組合員ダケト云フ考ヲ持ッテ居ル譯デハゴザイマセヌ

○東委員長 他ニ御質問ハアリマセヌカ

「散會願ヒマス」ト呼フ者アリ」

○東委員長 ソレデハ本日ハ是デ散會シマ
ス

午後二時三十三分散會

昭和十一年五月十一日印刷

昭和十一年五月十二日發行

衆議院事務局

印刷者 常磐印刷株式會社